

平成 26 年 度

佐 賀 大 学  
入 学 者 選 拔 要 項



佐 賀 大 学

☎ 0952-28-8178

ホームページ <http://www.saga-u.ac.jp/>

e - mail [nyushi@mail.admin.saga-u.ac.jp](mailto:nyushi@mail.admin.saga-u.ac.jp)

# 目 次

I	佐賀大学憲章	1
II	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	2
III	学部、学科・課程等及び募集人員等	31
IV	出願資格	32
V	選抜方法	32
	○平成26年度佐賀大学入学者選抜方法等	34
	○平成26年度大学入試センター試験の利用教科・科目等について	37
	○平成26年度佐賀大学入学者選抜における実施教科・科目等	38
	・大学入試センター試験の「外国語」において、「英語」を選択した志願者に対する「リスニング」の取扱い	48
	・実技検査（一般入試）の内容	49
	○平成26年度特別入試（推薦）	50
	○平成26年度特別入試（帰国子女）	70
	○平成26年度特別入試（社会人）	72
	○平成26年度特別入試（佐賀県推薦入学）	73
	○平成26年度特別入試（A O）	75
VI	私費外国人留学生入試	77
VII	事前相談を要するみなさんへ	79
VIII	入学者選抜に関する細目の発表及び学生募集要項の請求方法	80
IX	平成27年度佐賀大学入学者選抜における実施教科・科目等 [予告]	84
X	平成27年度以降の入学者選抜方法等の変更について [予告]	90

選 抜 種 別	学 部	出 願 期 間	試 験 日	合 格 者 発 表 日
一 般 入 試	前期日程 文化教育学部，経済学部， 理工学部，農学部	平成26年1月27日(月) ～	平成26年2月25日(火)	平成26年3月7日(金)
			平成26年2月25日(火) 平成26年2月26日(水)	
	後期日程 文化教育学部，経済学部， 理工学部，農学部	平成26年2月5日(水)	平成26年3月12日(水)	平成26年3月21日(金)
			平成26年3月12日(水) 平成26年3月13日(木)	
特 別 入 試	推薦入試Ⅰ 文化教育学部，経済学部， 理工学部，農学部	平成25年11月1日(金) ～ 平成25年11月7日(水)	平成25年11月29日(金)	平成25年12月16日(月)
			医学部看護学科	
	推薦入試Ⅱ 医学部医学科		平成26年2月13日(木)	
	帰国子女 理工学部，農学部	平成25年11月1日(金) ～ 平成25年11月7日(水)	平成25年11月29日(金)	平成25年12月16日(月)
			平成26年2月25日(火) 平成26年2月26日(水)	平成26年3月7日(金)
	社会人 医学部看護学科	平成25年11月1日(金) ～ 平成25年11月7日(水)	平成25年11月30日(土)	平成25年12月16日(月)
	佐賀県推薦入学 医学部医学科 (右記出願期間はあらかじめ行 われる佐賀県の選抜を経た上 での出願期間です。)	平成25年11月22日(金) ～ 平成25年11月26日(火)	平成25年11月30日(土)	平成26年2月13日(木)
	A O 文化教育学部 学校教育課程 音楽選修	平成25年8月12日(月) ～ 平成25年8月19日(月)	平成25年9月26日(木) 平成25年9月27日(金)	平成25年10月4日(金)
			文化教育学部 人間環境課程 健康福祉・スポーツ選修	
	私費外国人 留学生入試	文化教育学部，経済学部， 理工学部，農学部	平成26年1月23日(木) ～ 平成26年1月30日(木)	平成26年3月3日(月)
平成26年2月25日(火) 平成26年2月26日(水)				

---

# I 佐賀大学憲章

---

平成18年3月15日 制定

佐賀大学は、これまでに培った文、教、経、理、医、工、農等の諸分野にわたる教育研究を礎にし、豊かな自然溢れる風土や諸国との交流を通して育んできた独自の文化や伝統を背景に、地域と共に未来に向けて発展し続ける大学を目指して、ここに佐賀大学憲章を宣言します。

## 魅力ある大学

目的をもって生き活きと学び行動する学生中心の大学づくりを進めます

## 創造と継承

自然と共生するための人類の「知」の創造と継承に努めます

## 教育先導大学

高等教育の未来を展望し、社会の発展に尽くします

## 研究の推進

学術研究の水準を向上させ、佐賀地域独自の研究を世界に発信します

## 社会貢献

教育と研究の両面から、地域や社会の諸問題の解決に取り組みます

## 国際貢献

アジアの知的拠点を目指し、国際社会に貢献します

## 検証と改善

不断の検証と改善に努め、佐賀の大学としての責務を果たします

## Ⅱ 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

### 佐賀大学の求める入学者

佐賀大学は、学生と緊密にコミュニケーションできる総合大学として、人格形成、専門知識・技術の修得、そして基礎から実用開発にいたるまで、能力を最大限に伸ばすことを目標に人材育成と研究活動を展開します。

佐賀大学の教育目標は、高度情報化社会で活躍できる情報基礎と専門知識を修得させること、地域文化を理解し地域に根ざした活動を行うための素養を持たせること、国際化時代にふさわしい異文化理解とコミュニケーション能力を修得させることです。

佐賀大学は、チャレンジ精神を持ち、問題を自発的に探求・解明し、社会に貢献できることを人生目標とする学生を求めています。

## 各学部の入学者受入れの方針

### 文化教育学部

#### 【1】求める学生像

文化教育学部は、学校教育課程、国際文化課程、人間環境課程及び美術・工芸課程により構成し、各々の課程の持つ特質を融合させたカリキュラムを整え、特定の専門知識に偏らない「総合知」を有する人材を育成することを目的とします。各課程の目的と求める学生像は以下の通りです。

#### ■学校教育課程

社会的、国際的に広い視野と教養を持ち、教科内容、教育方法等について幅広く学び、教育実習の充実・高度化を通して、学校教育現場の諸問題に的確に対応できる教員を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 小学校の全教科に関する学習と、専門分野（教育学、教育心理学、障害児教育、教科教育、理科、数学、音楽のいずれか）の学習に興味と意欲を持つ人
- ② 幅広い基礎的学力や技能を備え、学校教育の諸問題や各教科の教育について熱意を持って学ぶことにより、小学校の教員、さらには中学校・高等学校などの教員を目指す人

#### [学校教育課程で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み]

文系、理系に偏らず、高等学校で履修する全ての教科・科目について、基礎的な知識を幅広く学習し、自分の考えを分かり易く文章や口頭で表現することが必要です。なお、技能が重要視される分野では、基礎的な技量を修得しておくことが求められます。将来、教師として活躍するためには、初等教育をめぐる諸問題に対して幅広い視野と強い関心を持つことが必要です。大学入学前にボランティア活動や学校内外での諸活動など教育に関わる何らかの実践を経験できる機会があれば積極的に挑戦することを期待します。

#### ■国際文化課程

文系専門分野に関する幅広い学識を持ち、徹底した外国語教育を通して、豊かな語学力と幅広い国際的視野を備える人材を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 国際的な広い視野からものごとを考え、学び、それを将来自分や社会のため活かそうという志を持つ人
- ② 外国語を含む言語運用能力およびそれを活用したコミュニケーション能力の修得に意欲を持つ人
- ③ 日本やアジア、欧米の言語・文化・歴史・社会等について学び、海外の大学への留学、公務員・旅客業・情報通信業・金融保険業など国際的な視野を必要とする業種への就職、中学校・

高等学校の国語科・社会科・英語科の教員を志望する人

### 〔国際文化課程で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み〕

国際文化課程が目標とする語学力と国際的視野を身につけるためには、入学前に、基本となる教科を広く履修しておく必要があります。まず、文献の読解、発表、討論、レポートの作成などのために十分な国語力が求められます。次に、社会科の科目を学ぶことにより、現代の社会とそれにつながる歴史に対する理解を深めておくことは、国際的視野を身につけていく上で役立ちます。このように国語や社会科の科目をよく勉強することは、異文化交流を行う上で必要な他者と自己の文化を理解することにもつながります。また、英語の学力は、入学後、英語で書かれた文献を読み、英語によるコミュニケーションを行うために必要であり、英語以外の外国語を修得するときにも助けとなります。ほかに、歴史・思想・文化などに関する幅広い読書を通して自分自身で考え、さらに友人などと意見交換を行うことは、自分で問題を発見、分析し、解決する力と高いコミュニケーション能力を養う上で有益です。なお、コミュニケーションには論理的な思考力も必要ですので、数学・理科など理系の教科の学習も役に立ちます。

### ■人間環境課程

心身の成長と特性、地域の生活と文化及び環境の理論と技術に関する幅広い学識を身に付け、より豊かな生活を実現するための主導的役割を果たすことができる人材を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 幅広い教養と基礎学力を有し、自然環境、地域社会、人間の文化に強い関心を持っている人
- ② ①に示す領域に関する高度な知識と先見性、実践力を身につけていく意欲のある人

### 〔人間環境課程で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み〕

人間環境課程は、生活、地域社会や自然環境との関わり、福祉、健康とスポーツなど、人間と環境に関係する諸問題を学問対象としています。そのため、高等学校で学ぶ様々な教科や科目の基本的事項を幅広く修得しておくことが必要です。具体的には、授業で学んだ内容および実習や演習等での実践記録や調査内容についてレポートを作成する場合には、文章の読解力と記述力を中心とする国語の能力が必要となります。また、専門書の読解や日本以外の事柄について調べる場合には、基礎的な英語力も不可欠です。さらに、多様な分野で構成される本課程にとって、高等学校で履修する社会や理科に関わる基本的知識は、物事を幅広く捉え、多様な観点から考察するために必要な知識となります。また分野によっては家庭科や保健体育に関わる基本的知識や技能を修得しておくことが望まれます。

## ■美術・工芸課程

美術・工芸分野の理論・実践について学び、あわせて当該分野の教育について考究することを通して、美術教育者若しくは造形作家として、又は企業等において活躍できる人材を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 日本画，西洋画，彫刻，デザイン，窯芸，木工工芸，染織工芸，金工工芸，美術理論・美術史及び美術教育の各分野に興味と意欲をもっている人
- ② 基礎的学力や技能を備え，制作・学習に意欲的に取り組み，表現や理論的な思考などの能力を自ら育てようとする熱意を持って学び，優れた教育者や専門家，企業人などを目指す人

### [美術・工芸課程で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み]

美術工芸を学ぶにあたって大きく分けて3つの事を意識して下さい。1つ目は「活力」です。美術工芸が果たして来た役割を学びつつ、これからの社会とどのようにつながることが出来るかを想像して下さい。主体的な自己が生まれ、同時に活力を生み出す事ができます。2つ目は「理知」です。身の回りの現実にかかる出来事に興味を持ち、気になる事に少し立ち止まりながら知識を深めてください。さまざまな分野の事が複雑に関係している世界のさまざまな兆候を見逃さない感性が生まれ、理知へと発展します。3つ目は「発信」です。自分の好きなものや気になることを誰かに積極的に伝えて下さい。それは活力と理知を伴って社会への発信へと変わります。これらの事を入学前から意識する事で、より有意義な大学生活が送れるはずです。

## 【2】入学者選抜の基本方針

文化教育学部の教育理念に基づき、教育目的・教育目標・教育方針に沿った人材を育成するために、開放性、客観性、公平性を旨とした多様な入試方法と多面的な評価方法により入学者を受け入れます。

### 一般入試

入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とした一般入試を行います。一般入試では、「前期日程」と「後期日程」の2つの入試区分により、異なる観点から入学者を選考します。

### 【前期日程】

大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、個別学力検査においては、専門科目を理解するために必要な基礎学力または適性を有しているかを、各課程・選修が指定する評価方法（学力検査、実技検査）によって評価します。

### 【後期日程】

大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、個別学力検査においては、専門科目を理解するために必要な基礎学力または適性を有しているかを、各課程・選修が指定する評価方法（小論文、面接、実技検査）によって評価します。

### 特別入試

一般入試とは異なる観点により、多様な能力や資質を有し、本学部への志望動機が明確で意欲的な入学希望者を対象に特別入試を行います。特別入試では、「推薦入試Ⅰ」と「AO入試」の2つの入試区分により、入学者を選考します。

#### 【推薦入試Ⅰ】

出願要件を満たし、各高等学校長から推薦されることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを、調査書、小論文（美術・工芸課程以外）および口頭試問（国際文化課程、人間環境課程〔健康福祉・スポーツ選修〕以外）によって評価します。また、専門科目を理解できる基礎学力または適性を有しているかを、小論文（美術・工芸課程以外）、口頭試問（国際文化課程、人間環境課程〔健康福祉・スポーツ選修〕以外）および実技検査（国際文化課程、人間環境課程〔生活・環境・技術選修〕以外）によって評価します。さらに、各課程・選修に対する明確な志望動機や入学後の学習意欲等を有しているかを、書類審査と面接試験によって評価します。

#### 【AO入試】

出願要件を満たしていることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを、調査書、小論文（学校教育課程〔音楽選修〕のみ）、志願者評価書（人間環境課程〔健康福祉・スポーツ選修〕のみ）およびプレゼンテーション（人間環境課程〔健康福祉・スポーツ選修〕のみ）によって評価します。また、専門科目を理解できる基礎学力および適性を有しているかを、口頭試問、自己推薦書、レッスン形式による実技とソルフェージュ（学校教育課程〔音楽選修〕のみ）、志願者評価書（人間環境課程〔健康福祉・スポーツ選修〕のみ）およびプレゼンテーション（人間環境課程〔健康福祉・スポーツ選修〕のみ）によって評価します。さらに、各課程・選修に対する明確な志望動機や入学後の学習意欲等を有しているかを、書類審査と面接試験によって評価します。

### 編入学試験

各課程・選修の専門分野において、さらに高度な専門教育・研究を希望する学生を対象に3年次編入学試験を行います。編入学試験では、「一般入試」と「推薦入試」の2つの区分により、入学者を選考します。



### 【一般入試】

出願要件を満たしていることを前提とします。その上で、専門科目を理解できる基礎学力または適性を有しているかを、学力検査（外国語）（美術・工芸課程以外）、成績証明書、小論文（国際文化課程、人間環境課程〔生活・環境・技術選修〕のみ）、口頭試問（人間環境課程のみ）および実技検査（美術・工芸課程のみ）によって評価します。また、各学科に対する明確な志望動機や入学後の学習意欲等を有しているかを、面接試験（人間環境課程、美術・工芸課程のみ）によって評価します。

### 【推薦入試】

出願要件を満たし、各所属長から推薦されることを前提とします。その上で、専門科目を理解できる基礎学力または適性を有しているかを、推薦書と小論文によって評価します。また、各課程・選修に対する明確な志望動機や入学後の学習意欲等を有しているかを、書類審査と面接試験によって評価します。

### 私費外国人留学生入試

外国人留学生に対する入学の機会を保障するために、私費外国人留学生入試を行います。本入試では、日本留学試験、TOEFLの成績、日本語作文（学校教育課程〔音楽選修〕と美術・工芸課程以外）および面接試験によって、入学後の学習に必要な語学力について評価します。また、大学で学習するために必要な基礎学力（汎用的な能力および専門科目を理解できる基礎学力または適性を含む）を有しているかを、日本留学試験、書類審査（成績証明書等）、実技検査（学校教育課程〔音楽選修〕と美術・工芸課程のみ）によって評価します。さらに、各課程・選修に対する明確な志望動機や入学後の学習意欲等を有しているかを、面接試験によって評価します。

文化教育学部で学ぶために必要な能力や適性等とその評価方法

観点	入学後に必要な能力や適性等	評価方法	入試方法	対象課程・選修
知識・理解・思考・判断	大学で学ぶために必要な汎用的な学力	大学入試センター試験において、5教科7科目（または6教科7科目）の総合的な基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程）	学校教育課程 国際文化課程 人間環境課程
			一般入試（後期日程）	学校教育課程 （理科選修，数学選修） 国際文化課程 人間環境課程
		大学入試センター試験において、3教科3科目の国語、外国語を中心とした基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程）	美術・工芸課程
		大学入試センター試験において、5教科5科目の主要科目についての基礎学力を評価します。	一般入試（後期日程）	学校教育課程 （理科選修，数学選修以外）
		調査書によって、高等学校時代における学業成績，学習態度を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ）	学校教育課程（教科教育選修） 国際文化課程 人間環境課程 美術・工芸課程
			特別入試（AO入試）	学校教育課程（音楽選修） 人間環境課程 （健康福祉・スポーツ選修）
		口頭試問によって、志望課程・選修で学ぶために必要な基礎的な知識とその理解力を評価します。	一般入試（後期日程）	学校教育課程 （理科選修，数学選修）
			特別入試（推薦入試Ⅰ）	学校教育課程（教科教育選修） 人間環境課程 （生活・環境・技術選修） 美術・工芸課程
			特別入試（AO入試）	学校教育課程（音楽選修） 人間環境課程 （健康福祉・スポーツ選修）
			3年次編入学試験（一般入試）	人間環境課程
		小論文によって、「問題理解力」，「文章構成力」，「論理性」，「表現力」，「知識」について評価します。	一般入試（後期日程）	学校教育課程 （教育学選修，教育心理学選修，障害児教育選修，教科教育選修） 国際文化課程 人間環境課程
			特別入試（推薦入試Ⅰ）	学校教育課程（教科教育選修） 国際文化課程 人間環境課程
			特別入試（AO入試）	学校教育課程（音楽選修）
			3年次編入学試験（推薦入試）	国際文化課程 人間環境課程
			3年次編入学試験（一般入試）	国際文化課程 人間環境課程 （生活・環境・技術選修）
		志願者評価書によって、第三者の評価を参考に、汎用的な学力を身につけているかを評価します。	特別入試（AO入試）	人間環境課程 （健康福祉・スポーツ選修）
		プレゼンテーションによって、自己表現力および自分の考えを相手に正しく伝える力を身につけているかを評価します。	特別入試（AO入試）	人間環境課程 （健康福祉・スポーツ選修）
		日本留学試験において、課程・選修が指定した科目について基礎的な学力を評価します。	私費外国人留学生入試	全課程
		日本語作文および面接試験において、基本的な語学力を評価します。	私費外国人留学生入試	学校教育課程（音楽選修以外） 国際文化課程 人間環境課程
	3年次編入学試験（推薦入試）		国際文化課程 人間環境課程	
			国際文化課程 人間環境課程 美術・工芸課程	
	私費外国人留学生入試		全課程	
	TOEFLの得点を用いて、基礎的な英語力を評価します。	私費外国人留学生入試	全課程	
専門科目を学ぶために必要な基礎学力および適性	大学入試センター試験において、5教科7科目（または6教科7科目）の総合的な基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程）	学校教育課程 国際文化課程 人間環境課程	
		一般入試（後期日程）	学校教育課程 （理科選修，数学選修） 国際文化課程 人間環境課程	
	大学入試センター試験において、3教科3科目の国語、外国語を中心とした基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程）	美術・工芸課程	

観点	入学後に必要な能力や適性等	評価方法	入試方法	対象課程・選修
知識・理解・思考・判断	大学で学ぶために必要な基礎学力	大学入試センター試験において、5教科5科目の主要科目についての基礎学力を評価します。	一般入試（後期日程）	学校教育課程 (理科選修, 数学選修以外)
		個別学力検査において、高等学校で履修する国語, 数学, 英語の中から1教科について、標準的な知識と理解, それに基づく論理的な思考力を記述式によって評価します。	一般入試（前期日程）	学校教育課程 (数学選修以外) 人間環境課程
		個別学力検査において、高等学校で履修する数学について、標準的な知識と理解, それに基づく論理的な思考力を記述式によって評価します。	一般入試（前期日程）	学校教育課程 (数学選修のみ)
		個別学力検査において、高等学校で履修する国語と英語について、基礎的な知識だけでなく、長文読解力, 論理的思考力および表現力等を有しているかを記述式によって評価します。	一般入試（前期日程）	国際文化課程
		小論文によって、「問題理解力」, 「文章構成力」, 「論理性」, 「表現力」, 「知識」について評価します。	一般入試（後期日程）	学校教育課程 (教育学選修, 教育心理学選修, 障害児教育選修, 教科教育選修) 国際文化課程 人間環境課程
			特別入試（推薦入試Ⅰ）	学校教育課程(教科教育選修) 国際文化課程 人間環境課程
			特別入試（AO入試）	学校教育課程（音楽選修）
			3年次編入学試験(一般入試)	国際文化課程 人間環境課程 (生活・環境・技術選修)
			3年次編入学試験(推薦入試)	国際文化課程 人間環境課程
			一般入試（前期日程）	美術・工芸課程
			一般入試（後期日程）	学校教育課程（音楽選修） 美術・工芸課程
			特別入試（推薦入試Ⅰ）	学校教育課程(教科教育選修) 人間環境課程 (健康福祉・スポーツ選修) 美術・工芸課程
			特別入試（AO入試）	学校教育課程（音楽選修）
			3年次編入学試験(一般入試)	美術・工芸課程
		実技検査において、志望課程・選修で学ぶために必要な基礎的な技術および適性について評価します。	私費外国人留学生入試	学校教育課程（音楽選修） 美術・工芸課程
			一般入試（後期日程）	学校教育課程 (理科選修, 数学選修)
			特別入試（推薦入試Ⅰ）	学校教育課程(教科教育選修) 人間環境課程 (生活・環境・技術選修) 美術・工芸課程
			特別入試（AO入試）	学校教育課程（音楽選修） 人間環境課程 (健康福祉・スポーツ選修)
			3年次編入学試験(一般入試)	人間環境課程
			特別入試（AO入試）	人間環境課程 (健康福祉・スポーツ選修)
			特別入試（AO入試）	人間環境課程 (健康福祉・スポーツ選修)
			3年次編入学試験(一般入試)	国際文化課程 人間環境課程
			特別入試（AO入試）	人間環境課程 (健康福祉・スポーツ選修)
			3年次編入学試験(一般入試)	国際文化課程 人間環境課程 美術・工芸課程
志願者評価書によって、第三者の評価を参考に、汎用的な学力を身につけているかを評価します。 プレゼンテーションによって、自己表現力および自分の考えを相手に正しく伝える力を身につけているかを評価します。 学力検査において、外国語の理解と論理的な思考力について記述式によって評価します。	3年次編入学試験(推薦入試)	国際文化課程 人間環境課程		
	私費外国人留学生入試	全課程		
	3年次編入学試験(一般入試)	国際文化課程 人間環境課程 美術・工芸課程		
	3年次編入学試験(推薦入試)	国際文化課程 人間環境課程		
書類審査（成績証明書等）において、これまでの学習状況を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ）	学校教育課程(教科教育選修) 国際文化課程 人間環境課程 美術・工芸課程		
	特別入試（AO入試）	学校教育課程（音楽選修） 人間環境課程 (健康福祉・スポーツ選修)		
	3年次編入学試験(推薦入試)	国際文化課程 人間環境課程		
	3年次編入学試験(一般入試)	国際文化課程 人間環境課程 美術・工芸課程		
興味・関心・態度・意欲	志望課程・選修で学ぶための明確な志望動機や入学後の学習意欲	調査書等によって、高等学校時代における課外活動や志望課程・選修での学習と関連する実績等を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ）	学校教育課程(教科教育選修) 国際文化課程 人間環境課程 美術・工芸課程
			特別入試（AO入試）	学校教育課程（音楽選修） 人間環境課程 (健康福祉・スポーツ選修)
			3年次編入学試験(推薦入試)	国際文化課程 人間環境課程
			3年次編入学試験(一般入試)	国際文化課程 人間環境課程 美術・工芸課程

観点	入学後に必要な能力や適性等	評価方法	入試方法	対象課程・選修
興味・関心・態度・意欲	志望課程・選修で学ぶための明確な志望動機や入学後の学習意欲	推薦書において、推薦の理由を評価の参考にします。	特別入試（推薦入試Ⅰ）	学校教育課程(教科教育選修) 国際文化課程 人間環境課程 美術・工芸課程
			3年次編入学試験(推薦入試)	国際文化課程 人間環境課程
		自己推薦書において、推薦の理由を評価の参考にします。	特別入試（AO入試）	学校教育課程（音楽選修） 人間環境課程 （健康福祉・スポーツ選修）
		本人自筆の作文において、志望動機を評価の参考にします。	特別入試（推薦入試Ⅰ）	人間環境課程
		面接試験において、志望課程・選修で学ぶ動機、意欲、積極性、一般的態度等を評価します。	一般入試（後期日程）	学校教育課程 （理科選修、数学選修）
			特別入試（推薦入試Ⅰ）	学校教育課程(教科教育選修) 国際文化課程 人間環境課程 美術・工芸課程
			特別入試（AO入試）	学校教育課程（音楽選修） 人間環境課程 （健康福祉・スポーツ選修）
			3年次編入学試験(一般入試)	人間環境課程 美術・工芸課程
			3年次編入学試験(推薦入試)	国際文化課程 人間環境課程
私費外国人留学生入試	全課程			

# 経 済 学 部

## 【1】求める学生像

経済学部は、経済学・経営学・法律学を柱として社会科学上の知識と教養を授け、経済社会における問題を分析し解決できる人材を育成することを目的とします。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 社会や経済における課題を発見し解決する能力を身につけ、企業や自治体などでの活動を通じて社会に貢献したいと考える人
- ② 高度な専門知識を身につけ、経済・経営・法律の分野で専門職業人となることを目指す人
- ③ 社会の変化に対応するために生涯にわたって学習を続けることの必要性を認識し、その基盤となる幅広い知識と学習能力を大学で得たいと考える人

〔経済学部で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み〕

### 1. 知識と理解

- (1) 社会で生起している問題を理解するためには幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって、高等学校の主要教科科目の教科書レベルの知識を習得していることが求められます。特に、経済学・経営学・法律学を学ぶためには文章を正確に読解することが必要であり、そのためには入学前に一定の国語力を身に付けておくことが必要です。
- (2) グローバル化の時代においては英語を中心とした外国語の習得が必要です。また、国際性が求められる時代には外国語だけでなく、国際経済や国際政治などを理解するために歴史や地理などの広い知識も必要です。
- (3) 専門高等学校から進学する場合には、普通科目の勉強だけでなく、商業科目の基本的な知識と技能を習得しておくことが求められます。

### 2. 意欲と関心

社会問題への関心と情報収集能力が必要です。経済や経営、法律に関連する様々な社会現象に関心向け、関心のあるテーマについては図書館やインターネットなどを利用して自主的に調べる能力と習慣を身につけておくことは、入学後の学修にとって有益です。

## 【2】入学者選抜の基本方針

経済学部の教育理念に基づき、教育目的・教育目標・教育方針に沿った人材を育成するために、開放性、客観性、公平性を旨とした多様な入試方法と多面的な評価方法により入学者を受け入れます。

### 一般入試

入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての人を対象とした一般入試を行います。一般入試では、「前期日程」と「後期日程」の2つの入試区分により、異なる観点から

入学希望者を選考します。

#### 【前期日程】

大学で学習するために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、専門科目を理解するために必要な基礎学力として、国際的な視野で情報を収集し理解するための英語力を有しているかを判断するために、個別試験によって英語の基礎学力を評価します。

#### 【後期日程】

大学で学修するために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、社会科学の専門知識を得るために必要な基礎学力として、文献や資料の読解力と論理的思考能力および表現力を有しているかを判断するために、個別試験の小論文によって評価します。

#### 特別入試

一般入試とは異なる観点により、多様な能力や資質を有し、本学部への志望動機が明確で意欲的な入学希望者を対象に特別入試を行います。特別入試では、「推薦入試Ⅰ」（「普通科又はこれに準ずると本学部が認める科推薦」と「商業系の科、情報系の科、総合学科推薦」の2区分）により、入学希望者を選考します。

#### 【推薦入試Ⅰ】

出願要件を満たし、各高等学校長から推薦されることを前提とします。本学部の選考では、大学で学修するために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、調査書によって高等学校での学習達成度を評価するとともに、専門科目を学ぶために必要な基礎学力および適性を有しているかを判断するために小論文を課し、書類審査と口頭試問によって本学部に対する明確な志望動機や入学後の学修意欲を評価します。なお、商業系の科・情報系の科・総合学科の生徒を対象にした区分では、簿記検定などの資格取得といった経済学部の勉学に関連した学習実績も評価します。

#### 私費外国人留学生入試

外国人留学生に対する入学の機会を保障するために、私費外国人留学生入試を行います。本入試では、大学で学修するために必要な基礎学力として、日本語試験と日本語による口頭試問を行い、日本留学試験の結果と合わせて、入学後の学修に必要な語学力を持っているかを判断します。それと同時に、日本留学試験、書類審査、口頭試問によって、汎用的な学力および専門科目を学ぶために必要な基礎学力を評価します。さらに、本学部に対する明確な志望動機や入学後の学修意欲を有しているかを評価するために、書類審査と口頭試問を行います。

経済学部で学ぶために必要な能力や適性等とその評価方法

観点	入学後に必要な能力や適性等	評価方法	入試方法
知識・理解・思考・判断	大学で学ぶために必要な汎用的な学力	大学入試センター試験において、4教科5科目の主要教科についての基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程）
		調査書において、高校時代における学業成績、学習態度を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ）
		小論文によって、「問題理解力」、「文章構成力」、「論理性」、「表現力」、「知識」について評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ）
		日本留学試験において、文系科目の成績を用いて評価します。	私費外国人留学生入試
		日本留学試験において、日本語科目を用いて基本的な語学力を評価します。	私費外国人留学生入試
		面接試験において、基礎的な日本語能力を評価します。	私費外国人留学生入試
	専門科目を学ぶために必要な基礎学力および適性	大学入試センター試験において、4教科5科目の主要教科についての基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程）
		個別試験で、高校で履修する「英語」における、基礎的な英文の読解力および英語作文力を記述式によって評価します。	一般入試（前期日程）
		小論文によって、「問題理解力」、「文章構成力」、「論理性」、「表現力」、「知識」について評価します。	一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅰ）
		推薦書によって、高校時代に取得した資格を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ） ※商業系の科、情報系の科、総合学科推薦のみ
		口頭試問によって、本学部で学ぶために必要な基礎的な知識とその理解力を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ） 私費外国人留学生入試
		日本留学試験において、文系科目の成績を用いて評価します。	私費外国人留学生入試
		書類審査（成績証明書等）において、これまでの学習状況を評価します。	私費外国人留学生入試
		興味・関心・態度・意欲	志望学科で学ぶための明確な志望動機や入学後の学習意欲
推薦書において、推薦の理由を参考にします。	特別入試（推薦入試Ⅰ）		
志願者本人の自筆の作文によって、志望理由、入学後の意欲等を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ）		
面接試験において、本学部で学ぶ動機、意欲、積極性、一般的態度等を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ） 私費外国人留学生入試		

# 医 学 部

## 【1】求める学生像

医学部は、教育・研究・診療の三つの使命を一体として推進することによって、社会の要請に応えうる良い医療人を育成し、もって医学・看護学の発展並びに地域包括医療の向上に寄与することを基本理念とします。各学科の目的と求める学生像は以下の通りです。

### ■医学科

医の実践において、強い生命倫理観に基づくとともに広い社会的視野の下に包括的に問題をとらえ、その解決を科学的・創造的に行うような医師を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 医学への志を持ち、医学・医療により社会に貢献したいと考える人
- ② 他者への思いやりを持ち、コミュニケーションを取ることができる人
- ③ 学習と医療の研鑽を努力・持続するための忍耐強さを持つ人
- ④ 医学を学ぶために必要な基礎的学力・能力を備えている人
- ⑤ 生涯を通して、医学・医療について勉学する意欲のある人

### 〔医学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み〕

医学は、生命科学を中心に自然科学のあらゆる分野が密接に関連しているとともに、人間を対象とする人文・社会科学の要素が深く関わっています。そのため、高等学校で履修すべき科目を偏ることなく、幅広く習得しておくことが必要です。特に、生物・化学・物理・数学の基本的事項を充分理解し、それに基づく論理的な思考ができるようにしておく必要があります。さらに、大学の学習で用いる参考書等の理解、レポートの作成、グループ討論や発表に必要な国語力、英語力およびコミュニケーション能力を獲得していることも重要です。また、医学への志を確かなものにするために、医学・医療をとりまく社会に目を向け、読書やボランティア活動、医療関連先輩との交流などの取組みを通じて、自らキャリアデザインを考える積極的な姿勢が望まれます。

### ■看護学科

高い倫理観に基づき健康についての問題を包括的にとらえ、柔軟に解決する実践能力を持った看護職者を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 人間に関心を持ち、人々の健康と福祉に貢献したいと願う人
- ② 豊かな感性と表現力を身につけている人
- ③ 相手の立場に立って、柔軟に物事を考えられる人
- ④ 看護職に夢を持ち、理想とする看護職者を目指そうとする人
- ⑤ 幅広い基礎学力と論理的な思考力を備えている人
- ⑥ 生涯を通して、看護学や医療について勉学する意欲のある人



## 〔看護学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み〕

看護学は、健康な人から病をもつ人まで様々な健康レベルの人々を対象とした実践科学です。人間は身体的・精神的・社会的存在で、環境と相互作用しながら健康を維持しています。これらの健康のしくみには、自然・人文・社会科学的要素が深く関わっているため、看護学の学習のためには、高等学校で履修すべき科目を偏ることなく、幅広く習得しておくことが必要です。看護実践の基礎となる、看護の知識と専門的技術の修得には、特に、生物・化学・物理・数学の基本的事項を理解し、論理的な思考ができるようにしておく必要があります。また、看護は人間関係を通して実施されるため、文章による意思の疎通に必要な国語力や自己・他者間の理解を共有するためのコミュニケーション能力を獲得していることも重要です。大学での学習は、看護の生涯学習の基盤となるため、国内外の社会に目を向け、読書やボランティア活動などの自己啓発の取り組みを通じて、自ら考える積極的な姿勢が望まれます。

### 【2】 入学者選抜の基本方針

医学部の教育理念に基づき、教育目的・教育目標・教育方針に沿った人材を育成するために、開放性、客観性、公平性を旨とした多様な入試方法と多面的な評価方法により入学者を受け入れます。

#### 一般入試

入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とした一般入試を行います。一般入試では、「前期日程」と「後期日程」の2つの入試区分により、異なる観点から入学希望者を選考します。

#### 【前期日程】

大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験と調査書によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、専門科目を理解できる基礎学力、科学的あるいは論理的思考力および問題解決能力、明確な志望動機や入学後の意欲等、医療従事者としての適性を有しているかを判断するために、個別試験において、学力検査(医学科のみ)、小論文(看護学科のみ)、面接試験および調査書によって評価します。

#### 【後期日程】

大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験と調査書によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、明確な志望動機や入学後の意欲等および医療従事者としての適性を有しているかを判断するために、個別試験において、調査書、自己推薦書および面接試験によって評価します。

## 特別入試

一般入試とは異なる観点により、多様な能力や資質および経験を有し、そして本学部への志望動機が明確で意欲的な入学希望者を対象に特別入試を行います。特別入試では、「推薦入試Ⅰ」（看護学科のみ）、「推薦入試Ⅱ」（医学科のみ）、「佐賀県推薦入学」（医学科のみ）、「帰国子女」（医学科のみ）、「社会人」（看護学科のみ）の5つの入試区分により、入学希望者を選考します。なお、「推薦入試Ⅱ（佐賀県枠）」と「佐賀県推薦入学」については、将来、佐賀県内の医療活動に、また「推薦入試Ⅱ（長崎県枠）」については、将来、長崎県内の医療活動に貢献したいという強い意志を持つ者を対象とします。

### 【推薦入試Ⅰ】（看護学科のみ）

出願要件を満たし、各高等学校長から推薦されることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、調査書と小論文によって評価します。また、明確な志望動機や入学後の意欲等および医療従事者としての適性を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

### 【推薦入試Ⅱ】（医学科のみ）

出願要件を満たし、各高等学校長から推薦されることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験と調査書によって高等学校までの学習到達度を評価すると同時に、小論文によって、科学的あるいは論理的思考力および問題解決能力について評価します。また、明確な志望動機や入学後の意欲等および医療従事者としての適性を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

### 【佐賀県推薦入学】（医学科のみ）

出願要件を満たし、佐賀県から推薦されることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験によって高等学校までの学習到達度を評価すると同時に、小論文によって、科学的あるいは論理的思考力および問題解決能力について評価します。また、明確な志望動機や入学後の意欲等および医療従事者としての適性を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

### 【帰国子女】（医学科のみ）

出願要件を満たしていることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、学力検査と書類審査によって評価します。また、明確な志望動機や入学後の意欲等および医療従事者としての適性を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

### 【社会人】（看護学科のみ）

出願要件を満たしていることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学

力を有しているかを判断するために、書類審査と小論文によって評価します。また、明確な志望動機や入学後の意欲等および医療従事者としての適性を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

#### **編入学試験（看護学科のみ）**

短期大学及び専修学校の卒業生で、さらに高度な専門教育・研究を希望する入学希望者を対象に3年次編入学試験を行います。本入試では、大学で学習するために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、総合問題と書類審査によって評価します。また、明確な志望動機や入学後の意欲等および医療従事者としての適性を有しているかを判断するために、面接試験によって評価します。

#### **私費外国人留学生入試（医学科のみ）**

外国人留学生に対する入学の機会を保障するために、私費外国人留学生入試を行います。本入試では、大学で学習するために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、学力検査、日本留学試験、TOEFLの成績および書類審査によって評価します。さらに、明確な志望動機や入学後の意欲等および医療従事者としての適性を有しているかを判断するために、面接試験によって評価します。

医学部で学ぶために必要な能力や適性等とその評価方法

観点	評価方法	入試方法	対象学科
知識・理解・思考・判断	大学入試センター試験において、5教科7科目の総合的な基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅱ） 特別入試（佐賀県推薦入学）	医学科
	大学入試センター試験において、5教科6科目の総合的な基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程）	看護学科
	個別試験において、高校で履修する数学、英語、物理、化学について、標準的な知識と理解、それに基づく論理的な思考力について記述式によって評価します。	一般入試（前期日程） 特別入試（帰国子女） 私費外国人留学生入試	医学科
	調査書において、高校時代における学業成績、学習態度を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅱ） 特別入試（佐賀県推薦入学）	医学科
		一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅰ）	看護学科
	小論文によって、「問題理解力」、「文章構成力」、「論理性」、「表現力」、「知識」について評価します。	特別入試（推薦入試Ⅱ） 特別入試（佐賀県推薦入学） 一般入試（前期日程） 特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（社会人）	医学科 看護学科
	書類審査（成績証明書等）において、これまでの学習状況を評価します。	特別入試（帰国子女） 私費外国人留学生入試	医学科
	日本留学試験において、理系科目の成績を用いて評価します。	私費外国人留学生入試	医学科
	日本留学試験と面接試験において、基本的な日本語力を評価します。	私費外国人留学生入試	医学科
	TOEFLの得点を用いて、基礎的な英語力を評価します。	私費外国人留学生入試	医学科
学力検査において、英語、専門科目に関する標準的な知識と理解、それに基づく論理的な思考力について記述式によって評価します。	3年次編入学試験	看護学科	
興味・関心・態度・意欲	調査書において、高校時代における課外活動や志望学科での学習と関連する実績等を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅱ） 特別入試（佐賀県推薦入学）	医学科
		一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅰ）	看護学科
	自己推薦書の内容について評価します。	一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅱ）	医学科
		一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅰ）	看護学科
	推薦書において、推薦の理由を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅱ） 特別入試（佐賀県推薦入学）	医学科
		特別入試（推薦入試Ⅰ）	看護学科
	面接試験において、志望学科で学ぶ動機、意欲、積極性、一般的態度等を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅱ） 特別入試（佐賀県推薦入学） 特別入試（帰国子女） 私費外国人留学生入試	医学科
		一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（社会人） 3年次編入学試験	看護学科

# 理 工 学 部

## 【1】求める学生像

理工学部は、幅広い教養と科学・技術の専門的な素養を持ち、社会の広い分野で活躍できる人材を育成することを目的とします。各学科の目的と求める学生像は以下の通りです。

### ■数理科学科

数理科学科では、数学及び数理科学の領域において、広く社会で活躍できる高度な専門的知識・能力を持つ教育者、技術者、研究者となる人材を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 数学および数理科学の分野の専門知識を修得し、論理的思考力、問題解決能力を身につけることを目指す人
- ② 数学および数理科学の分野で、専門的知識を社会に活用できる教育者、技術者を目指す人

### 〔数理科学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校での学習の取り組み〕

数学の概念や論理的厳密性を修得するためには、微分積分、線形代数、集合・位相といった数学の基本的な考え方や手法を身につけることが必要です。そのためには、高等学校で履修する数学の基礎的理解と応用力が不可欠です。さらに、自然科学の基本的な概念や原理・法則を理解して科学的な自然観を養っておくことは、学びの視野を広げることに繋がります。そのため、高等学校で学ぶ理科についても教科書レベルの知識を有していることが望まれます。一方、専門科目に限らず、大学では多くのレポートを書くことが一般的です。レポート作成には、文章の読解力と記述力さらには社会的な常識が必要となります。したがって、高等学校で学ぶ国語や社会の基礎的な学力は必要です。さらに、日本語文献だけでなく英語文献などもセミナー形式で学習しますので、英文の基礎的な読解力だけでなく、自分で辞書等を調べて英文を読みこなす習慣をつけておくことが必要です。

### ■物理科学科

物理科学科では、広範な自然現象を理解する試みを通して、現代の科学技術を支える学力と、柔軟性に富んだ豊かな発想力を培い、広い分野で活躍できる人材を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 理数系科目の学力に優れ、自然科学に対して強い興味を持つ人

### 〔物理科学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校での学習の取り組み〕

物理学における基本的な概念や法則を理解するためには、高等学校で履修する物理と数学の基本的事項の理解および計算能力だけでなく、それらの知識に基づく論理的な思考力が求められま

す。また、実験や観測を通して法則を見出すための洞察力も必要です。さらに、専門的な知識や考え方を修得するためには、海外の文献にも目を通すことが必要であり、高等学校の教科書レベルの英文読解力が求められます。一方、専門科目に限らず大学の講義や演習では、情報の収集、文献読解およびレポートの作成など、情報収集力や文書作成能力が求められるため、高等学校で学ぶ国語や社会の基本的な知識や考え方を修得しておくことが必要です。

### ■知能情報システム学科

知能情報システム学科では、情報科学及び情報工学の学問領域における専門知識・能力及び広い視野を持ち、知識基盤社会を担う人材を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 一般的な基礎学力を備え、特に数学、理科の学力を備えた人
- ② IT に対する興味と基礎知識がある人
- ③ ソフトウェア開発や情報システムの構築に取り組む意欲のある人

#### [知能情報システム学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校での学習の取り組み]

知能情報システム学科では、IT の理論の専門基礎を重点的に教育します。そのため、高等学校で数学及び理科の基礎事項を理解し、教科書レベルの問題を解く能力を求めます。文書作成、口頭発表の能力を育成しますので、国語の学力が重要です。専門文献を読むため及び国際社会で活躍するための語学教育に必要な英語の学力も要求します。また、幅広い文化、自然、社会の素養を修得するために広範な基礎学力も必要です。本学科では、実験科目や卒業研究を通してグループの中での協調性、自主的学習能力、情報収集能力などを育成します。したがって、良識的に行動し、高い学習意欲を持ち、知識の獲得に積極的な学生の入学を望みます。

### ■機能物質化学科

機能物質化学科では、化学を通して継続的に社会に貢献することのできる人材を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 日頃から身の回りにある物質・材料がどのような化合物からできていて、その機能はどのような原理に基づいているのかを興味を持って調べ、自らの手で新しい機能物質を創り出すことに意欲を持つ人
- ② 化学はもちろん生物・物理・数学など理数系科目が得意で、国語・社会・英語などの基礎学力を身に付けた人

#### [機能物質化学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校での学習の取り組み]

化学は、物質の構造や機能の関係性を明らかにするために、様々な物質を詳細に調べ、新しい物質の合成や分解を行います。そのため、既存物質の特性を正確に把握し、必要な仮説と検証実験、そして得られた結果の論理的説明が求められます。このように化学を専門的に学ぶためには、

高等学校で学習する化学の基本事項を十分に理解していることが必要です。また、実験等で取得したデータ解析には、計算能力や数学的思考力が求められ、物質の物理的性質や生物的性質を理解するためには物理学や生物学の知識が必要となります。したがって、高等学校で学習する数学、物理および生物の基礎学力は、化学を専門的に理解するためには欠かせないものです。さらに、新しい知識や技術を身につけるためには、外国の文献等にも目を通す必要があり、基礎的な英文読解力が求められます。一方、専門科目に限らず大学の講義や演習では、情報の収集、文献読解およびレポートの作成など、情報収集力や文書作成能力が求められるため、高等学校で学ぶ国語や社会の基本的な知識や考え方を修得しておくことが必要です。

## ■機械システム工学科

機械システム工学科では、機械工学及びその関連の領域において、専門的な基礎知識及びその応用力並びにもものづくりの素養を身に付けた技術者となる人材を育成します。

- ① 理数系の基礎学力とともに倫理観を持ち、「ものづくり」に興味のある人

### [機械システム工学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校での学習の取り組み]

機械工学は、すべてのものづくりに欠かせない技術であり、それを修得するためには、高等学校で学ぶ数学と物理および化学の基本的事項を理解し、教科書レベルの基本問題を解く能力を十分身につけておく必要があります。また、講義を理解して、レポートを作成したり、自分が調べたものを発表するためには、読解力や記述力を中心とする国語能力だけでなく、現代社会の仕組みや歴史、文化など高等学校の社会科で学ぶ一般的な知識も求められます。さらに、英文の読解や作成、外国人とのコミュニケーションなど様々な分野で将来的に活躍するためには、高等学校で学ぶ基礎的な英語力は欠かせないものです。そして、ものづくりを通じた社会への貢献に興味と熱意を持つことを期待します。

## ■電気電子工学科

電気電子工学科では、電気工学及び電子工学の領域における専門的知識・能力を持ち、社会で活躍できる人材を育成します。

- ① エレクトロニクスや情報通信関連のハードウェアやソフトウェアなどの「もの創り」への関心を持ち、あるいは世界的視野に立ったエネルギーや環境問題などにも興味を持った意欲ある人
- ② 高校時代においては数学、物理、化学などの理数系科目の基礎学力をしっかりと身につけた人

### [電気電子工学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校での学習の取り組み]

電気電子工学科に入学した学生は、日本の誇る大企業や九州の有力企業をはじめとする社会の第一線で活躍できるよう、電気電子工学に関連した様々な理数系専門科目を学びます。技術文書を正確に書く練習や、技術英語の修得も行います。そして、それらを駆使して社会に役立つもの

を創り出す研究活動も行います。そのため、入学時点で、数学、物理、化学などの理数系科目の基礎学力をしっかり身につけていることが必要です。国語、英語、社会の基本的な知識を学んでいることも必要です。高校等での学習においては、教科書の範囲で解ける標準的な問題を、確実に解けるようにすることを望みます。社会で活躍できることを目指して育成しますので、もの創りへの関心や、エネルギーや環境問題等への興味が必要であり、男女を問わず意欲ある人の入学を望みます。

## ■都市工学科

都市工学科では、都市工学の領域における専門的知識・能力を持ち、社会で活躍できる人材を育成します。

- ① 私たちの暮らしを支える社会基盤や自然環境、建築デザインなどに興味のある人
- ② 専門教育に必要な基礎学力と勉学意欲を有している人
- ③ 自律的な学習を支える責任感、チャレンジ精神とやり遂げる強い意志を持つ人

### [都市工学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校での学習の取り組み]

都市における交通体系や水・エネルギー供給のライフライン、建築物等のさまざまな社会基盤・施設の整備と安全・安心の確保は非常に重要ですが、同時に自然環境や歴史、風土等との調和も必要です。都市工学科では、都市や地域に関する理解、形態や空間を扱うデザインも学問対象としていますので、様々な社会的事象および文化や歴史についても関心を持つことが求められます。したがって、都市工学科の志願者には、高校で学ぶ数学・物理など自然科学の基礎力、論理的思考を支える国語力、英語で書かれた文献の理解のための英語力、さらに地域の文化や歴史に目を向け得るための社会的な基礎知識などが求められます。

## 【2】入学者選抜の基本方針

理工学部の教育理念に基づき、教育目的・教育目標・教育方針に沿った人材を育成するために、開放性、客観性、公平性を旨とした多様な入試方法と多面的な評価方法により入学者を受け入れます。

### 一般入試

入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とした一般入試を行います。一般入試では、「前期日程」と「後期日程」の2つの入試区分により、異なる観点から入学希望者を選考します。



### 【前期日程】

大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、専門科目を理解できる基礎学力を有しているかを判断するために、個別試験によって数学と理科の基礎学力を評価します。

### 【後期日程】

大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、各学科の専門科目と特に関係の深い教科および科目について高い学力を有しているかを判断するために、個別試験によって各学科が指定する科目の学力を評価します。

### 特別入試

一般入試とは異なる観点により、多様な能力や資質を有し、本学部への志望動機が明確で意欲的な入学希望者を対象に特別入試を行います。特別入試では、「推薦入試Ⅰ」と「帰国子女」の2つの入試区分により、入学希望者を選考します。

### 【推薦入試Ⅰ】

出願要件を満たし、各高等学校長から推薦されることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを判断するために、調査書、小論文および口頭試問によって評価します。また、専門科目を理解できる基礎学力を有しているかを判断するために、口頭試問によって評価します。さらに、各学科に対する明確な志望動機や入学後の意欲等を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

### 【帰国子女】

出願要件を満たしていることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを判断するために、書類審査、小論文および口頭試問によって評価します。また、専門科目を理解できる基礎学力を有しているかを判断するために、口頭試問によって評価します。さらに、各学科に対する明確な志望動機や入学後の意欲等を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

### 編入学試験

各学科の専門分野において、さらに高度な専門教育・研究を希望する他教育機関からの学生を対象に3年次編入学試験を行います。編入学試験では、「一般入試」、「推薦入試」および「外国人留学生特別入試」の3つの区分により、入学希望者を選考します。

### 【一般入試】

出願要件を満たしていることを前提とします。その上で、専門科目を理解できる基礎学力を有しているかを判断するために、学力検査、口頭試問および成績証明書等によって評価します。また、各学科に対する明確な志望動機や入学後の意欲等を有しているかを判断するために、面接試験によって評価します。

### 【推薦入試】

出願要件を満たし、各所属長から推薦されることを前提とします。その上で、専門科目を理解できる基礎学力を有しているかを判断するために、推薦書、小論文および口頭試問によって評価します。また、各学科に対する明確な志望動機や入学後の意欲等を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

### 【外国人留学生特別入試】

出願要件を満たし、各所属長から推薦されることを前提とします。その上で、入学後の学習に必要な日本語の習得について判断するために、日本留学試験の成績を用いて評価します。また、専門科目を理解できる基礎学力を有しているかを判断するために、学力検査、口頭試問および成績証明書等によって評価します。さらに、各学科に対する明確な志望動機や入学後の意欲等を有しているかを判断するために、面接試験によって評価します。

### 私費外国人留学生入試

外国人留学生に対する入学の機会を保障するために、私費外国人留学生入試を行います。本入試では、大学で学習するために必要な基礎学力な学力として、日本留学試験、TOEFLの成績および面接試験によって入学後の学習に必要な語学力について評価すると同時に、日本留学試験、書類審査および口頭試問によって汎用的な学力を有しているかを評価します。また、専門科目を理解できる基礎学力を有しているかを判断するために、口頭試問によって評価します。さらに、各学科に対する明確な志望動機や入学後の意欲等を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

理工学部で学ぶために必要な能力や適性等とその評価方法

観点	入学後に必要な能力や適性等	評価方法	入試方法
知識・理解・思考・判断	大学で学ぶために必要な汎用的な学力	大学入試センター試験において、5教科7科目の総合的な基礎学力を評価します	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程）
		調査書において、高校時代における学業成績、学習態度を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ）
		小論文によって、「問題理解力」、「文章構成力」、「論理性」、「表現力」、「知識」について評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（帰国子女）
		書類審査（成績証明書等）において、これまでの学習状況を評価します。	特別入試（帰国子女）
		日本留学試験において、理系科目の成績を用いて評価する。	私費外国人留学生入試
		口頭試問によって、志望学科で学ぶために必要な基礎的な知識とその理解力を評価します。	私費外国人留学生入試
		日本留学試験において、日本語科目を用いて基本的な語学力を評価します。	私費外国人留学生入試
		TOEFLの得点を用いて、基礎的な英語力を評価します。	私費外国人留学生入試
	専門科目を学ぶために必要な基礎学力	大学入試センター試験において、5教科7科目の総合的な基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程）
		個別試験において、高校で履修する数学、物理および化学に関する標準的な知識と理解、数理的な解析力、それに基づく論理的思考と表現力について記述式によって評価します。	一般入試（前期日程）
		個別試験において、高校で履修する数学、物理および化学の中から1つの科目について、深い知識と理解および応用力、数理的な解析力、それに基づく論理的思考と表現力について記述式によって評価します。	一般入試（後期日程）
		口頭試問によって、志望学科で学ぶために必要な基礎的な知識とその理解力を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（帰国子女） 私費外国人留学生入試 3年次編入学試験（一般入試）
		学力検査において、数学、英語、専門科目に関する標準的な知識と理解、それに基づく論理的な思考力について記述式によって評価します。	3年次編入学試験（一般入試）
		書類審査（成績証明書等）において、これまでの学習状況を評価します。	3年次編入学試験（一般入試）
興味・関心・態度・意欲	志望学科で学ぶための明確な志望動機や入学後の学習意欲	調査書において、高校時代における課外活動や志望学科での学習と関連する実績等を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ）
		推薦書において、推薦の理由を参考にします。	特別入試（推薦入試Ⅰ）
		面接試験において、志望学科で学ぶ動機、意欲、積極性、一般的態度等を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（帰国子女） 私費外国人留学生入試

# 農 学 部

## 【1】求める学生像

農学部は、農学及び関連する学問領域において、多様な社会的要請にこたえうる幅広い素養と実行力を身に付けた人材を育成することを目的とします。各学科の目的と求める学生像は以下の通りです。

### ■応用生物科学科

応用生物科学科では、生物の特性を理解し、生物の改良や活用を通して、社会に貢献できる人材を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 多様な動植物の生理生態的特性の解明、バイオテクノロジーを用いた有用生物資源の開発・利用、有用動植物を加害する病害虫の制御等についての理解と関心がある人
- ② 問題解決に向けて、粘り強く自己研鑽に努める熱意と実行力がある人
- ③ 本学科で学んだことを活かして社会で活躍したいという目的意識と向上心がある人

### 〔応用生物科学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み〕

生物に対する興味があり、生物の機能また生物が生育する環境について学習するための基礎学力として、高等学校で履修する理科や数学の基本事項を理解していることが必要です。また、講義を理解し、レポート等を作成・発表するためには、様々な文献を読み、文書を作成するという国語力が必要になるだけでなく、社会の仕組みや地理・歴史といった高等学校の教科書レベルの一般常識も求められます。さらに、専門的な知識や技術を得るためには、海外の文献にも目を通す必要があるため、高等学校の教科書レベルの英語の読解力が不可欠です。農学は、実験や調査活動を自主的にかつ継続的に行なうことが重要です。また、その課題はグローバルな問題が多くあります。従って、自然科学全般に対する知識欲と、勉強を続けるための目的意識を持つこと、さらに、教員、先輩、友人、留学生等とコミュニケーションがとれる積極性が必要です。

### ■生物環境科学科

生物環境科学科では、3つのコースにおいて次のような人材を育成します。生物環境保全学コースでは、地球上の環境や生態系を深く理解し、これらの保全、再生及び活用を通して、社会に貢献できる人材を育成します。資源循環生産学コースでは、生物科学及び生産情報科学の理論と技術を学び、環境に配慮した食糧生産と環境問題の解決に貢献できる人材を育成します。地域社会開発学コースでは、フィールドワークに基づく教育研究を通して、日本を含むアジア・太平洋諸地域における、持続可能な循環型地域社会の構築に貢献できる人材を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 自然環境、社会環境及び生物生産環境の保全と修復に興味を持つ人
- ② 永続的な農業を可能にする新たな生物生産システム及び経済社会システムの創造に意欲があ

る人

- ③ 本学科で学んだことを活かして社会で活躍したいという目的意識と向上心がある人

**[生物環境科学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み]**

人間を含む生物やそれを取り巻く環境及び人間社会に対する興味があり、これらを総合的に学習するための基礎学力として、高等学校で履修する理科や数学の基本事項を理解していることが必要です。また、講義を理解し、レポート等を作成・発表するためには、様々な文献を読み、文書を作成するという国語力が必要になるだけでなく、社会の仕組みや地理・歴史、文化といった高等学校の教科書レベルの一般常識も求められます。さらに、専門的な知識や技術を得るためには、海外の文献にも目を通す必要があるため、高等学校の教科書レベルの英語の読解力が不可欠です。農学の課題にはグローバルな問題が多くあり、それを解決する糸口を得るため、実験や調査活動を自主的にかつ継続的に行なうことが重要です。従って、自然科学全般に対する知識欲と、勉強を続けるための目的意識を持つこと、さらに、教員、先輩、友人また留学生等とコミュニケーションがとれる積極性が望まれます。

**■生命機能科学科**

生命機能科学科では、科学的思考力を備え、生命科学技術の応用を通して、食と健康の分野において社会に貢献できる人材を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 生体における遺伝子の発現や物質代謝とそれらの調節機構を分子レベルで理解するライフサイエンス、食品の生体調節機能、栄養機能や安全性等に興味を持っている人
- ② 将来、本学科で学んだ知識や技術を社会で活かそうと考えている人

**[生命機能科学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み]**

生命現象に対する科学的興味があり、微生物から高等生物までの生命体が持つ機能について学習するための基礎学力として、高等学校で履修する理科や数学の基本事項を理解していることが必要です。また、講義を理解し、レポート等を作成・発表するためには、様々な文献を読み、文書を作成するという国語力が必要になるだけでなく、社会の仕組みや地理・歴史、文化といった高等学校の教科書レベルの一般常識も求められます。さらに、専門的な知識や技術を得るためには、海外の文献にも目を通す必要があるため、高等学校の教科書レベルの英語の読解力が不可欠です。農学は、実験や調査活動を自主的にかつ継続的に行なうことが重要です。また、その課題はグローバルな問題が多くあります。従って、自然科学全般に対する知識欲と、勉強を続けるための目的意識を持つこと、さらに、教員、先輩、友人また留学生等とコミュニケーションがとれる積極性が必要です。

## 【2】 入学者選抜の基本方針

農学部の教育理念に基づき、教育目的・教育目標・教育方針に沿った人材を育成するために、開放性、客観性、公平性を旨とした多様な入試方法と多面的な評価方法により入学者を受け入れます。

### 一般入試

入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とした一般入試を行います。一般入試では、「前期日程」と「後期日程」の2つの入試区分により、異なる観点から入学希望者を選考します。

#### 【前期日程】

大学で学習するために必要な基礎学力として、汎用的な学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、専門科目を学ぶために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、個別試験によって、「数学」と「英語」の基礎学力を評価します。

#### 【後期日程】

大学で学習するために必要な基礎学力として、汎用的な学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、専門科目を深く理解するために必要な数理的な思考力・表現力に関する高い能力を有しているかを判断するために、個別試験によって、「数学」の基礎学力を評価します。

### 特別入試

一般入試とは異なる観点により、多様な能力や資質を有し、本学部への志望動機が明確で意欲的な入学希望者を対象に特別入試を行います。特別入試では、「推薦入試Ⅰ」と「帰国子女」の2つの入試区分により、入学希望者を選考します。

#### 【推薦入試Ⅰ】

出願要件を満たし、各高等学校長から推薦されることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力として、汎用的な学力を有しているかを判断するために、書類審査(調査書、推薦書、作文等)、小論文および口頭試問によって評価します。また、専門科目を学ぶために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、口頭試問と小論文によって評価します。さらに、各学科に対する明確な志望動機や入学後の意欲等を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

#### 【帰国子女】

出願要件を満たしていることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力として、汎用的な学力を有しているかを判断するために、書類審査(成績証明書等)、小論文

および口頭試問によって評価します。また、専門科目を学ぶために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、口頭試問と小論文によって評価します。さらに、各学科に対する明確な志望動機や入学後の意欲等を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

### **編入学試験**

短期大学及び専修学校の卒業者等で、さらに高度な専門教育・研究を希望する入学希望者学生を対象に3年次編入学試験を行います。

出願要件を満たしていることを前提とします。その上で、専門科目を学ぶために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、書類審査（成績証明書等）、学力検査（英語）、口頭試問および面接試験等によって評価します。また、各学科に対する明確な志望動機や入学後の意欲等を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

### **私費外国人留学生入試**

外国人留学生に対する入学の機会を保障するために、私費外国人留学生入試を行います。本入試では、大学で学習するために必要な基礎学力として、日本留学試験、TOEFLの成績および面接試験によって入学後の学習に必要な語学力について評価すると同時に、日本留学試験、書類審査（成績証明書等）および口頭試問によって汎用的な学力を有しているかを評価します。また、専門科目を学ぶために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、口頭試問によって評価します。さらに、各学科に対する明確な志望動機や入学後の意欲等を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

農学部で学ぶために必要な能力や適性等とその評価方法

観点	入学後に必要な能力や適性等	評価方法	入試方法
知識・理解・思考・判断	大学で学ぶために必要な汎用的な学力	大学入試センター試験において、5教科7科目の総合的な基礎学力を評価します	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程）
		調査書において、高校時代における学業成績、学習態度を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ）
		小論文によって、「問題理解力」、「文章構成力」、「論理性」、「表現力」、「知識」について評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（帰国子女）
		書類審査（成績証明書等）において、これまでの学習状況を評価します。	特別入試（帰国子女）
		日本留学試験において、理系科目の成績を用いて評価します。	私費外国人留学生入試
		口頭試問によって、志望学科で学ぶために必要な基礎的な知識とその理解力を評価します。	私費外国人留学生入試
		日本留学試験において、日本語科目を用いて基本的な語学力を評価します。	私費外国人留学生入試
		TOEFLの得点を用いて、基礎的な英語力を評価します。	私費外国人留学生入試
	専門科目を学ぶために必要な基礎学力	大学入試センター試験において、5教科7科目の総合的な基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程）
		個別試験において、高校で履修する「数学」について、標準的な知識と理解、数理的な解析力、それに基づく論理的思考と表現力を記述式によって評価します。また、「英語」では、長文読解力、論理的思考力等を有しているかについて記述式によって評価します。	一般入試（前期日程）
		個別試験において、高校で履修する数学について、深い知識と理解および応用力、数理的な解析力、それに基づく論理的思考と表現力について記述式によって評価します。	一般入試（後期日程）
		小論文によって、「問題理解力」、「文章構成力」、「論理性」、「表現力」、「知識」について評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（帰国子女）
		口頭試問によって、志望学科で学ぶために必要な基礎的な知識とその理解力を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（帰国子女） 私費外国人留学生入試 3年次編入学試験（一般入試）
		学力検査において、英語文章の読解力について評価します。	3年次編入学試験（一般入試）
興味・関心・態度・意欲	志望学科で学ぶための明確な志望動機や入学後の学習意欲	調査書において、高校時代における課外活動や志望学科での学習と関連する実績等を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ）
		推薦書において、推薦の理由を参考にします。	特別入試（推薦入試Ⅰ）
		面接試験において、志望学科で学ぶ動機、意欲、積極性、一般的態度等を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（帰国子女） 私費外国人留学生入試 3年次編入学試験（一般入試）



### Ⅲ 学部，学科・課程等及び募集人員等

募集人員等 学部，学科・課程等名		入学 定員	募 集 人 員							備 考				
			一般入試		特 別 入 試									
			前期 日程	後期 日程	推薦入試Ⅰ (大学入試セ ンター試験 を課さない)	推薦入試Ⅱ (大学入試 センター試 験を課す)	婦国 子女	社会人	佐賀県 推薦入学		AO			
文 化 教 育 部	教育学選修	20	14	6	-								○左欄の中から1つの課程を志望してください。 ただし，学校教育課程においては，1つの選修を志望してください。 ○学校教育課程（教育学選修・教育心理学選修）及び人間環境課程（人間環境課程の推薦入試及びAO入試は除きます。）は，入学後それぞれの選修に分かれます。 ○国際文化課程は，入学して1年後にそれぞれの選修に分かれます。	
	教育心理学選修	9	6	3	-									
	障害児教育選修	42	24	8	10									
	教科教育選修	7	5	2	-									
	理科選修	7	5	2	-									
	数学選修	5	-	3	-									
	音楽選修	90	54	24	10									
	小計	60	40	14	6									
	国際文化課程	60	40	14	6									
	人間環境課程	60	35	9	4									
生活・環境・技術選修				9										
健康福祉・スポーツ選修				9										
美術・工芸課程	30	19	7	4										
小計	240	148	54	33										
経 済 学 部	経済学科	110	70	20	20								○一般入試は，3学科の中から順位を付けて第3志望まで志望できます。	
	経営学科	80	30	20	30									
	経済法学科	70	35	25	10									
	小計	260	135	65	60									
医 学 部	医学科	106	50	10	-	※44	若干人	-		2			○医学科の推薦入試における募集人員44人は，一般枠20人，佐賀県枠23人，長崎県枠1人とします。 ○看護学科の推薦入試における募集人員20人のうち，2人以内を専門系の科及び総合学科から募集します。	
	看護学科	60	35	5	20	-	-	若干人		-				
	小計	166	85	15	20	44				2				
理 工 学 部	数理科学科	30	24	6	-								○一般入試（前期日程）は，7学科の中から順位を付けて第2志望まで志望できます。 ○機能物質化学科は，入学して1年後にそれぞれのコースに分かれます。 ○都市工学科は，入学して1年半後にそれぞれのコースに分かれます。	
	物理科学科	40	32	8	-									
	知能情報システム学科	60	48	10	2									
	機能物質化学科	90	62	16	12		各学科 若干人							
	機能物質化学科				12									
	機能材料化学コース				12									
	機械システム工学科	90	68	17	5									
	電気電子工学科	90	69	17	4									
都 市 工 学 科	都市環境基盤コース	90	61	15	14									
	建築・都市デザインコース				14									
小計	490	364	89	37										
農 学 部	応用生物科学科	45	25	10	10								○一般入試は，3学科の中から順位を付けて第2志望まで志望できます。 ○生物環境科学科は，入学して1年後にそれぞれのコースに分かれます。	
	生物環境科学科	生物環境保全学コース	60	30	15	15		各学科 若干人						
		資源循環生産学コース				15								
		地域社会開発学コース				15								
	生命機能科学科	40	30	5	5									
小計	145	85	30	30										
合 計	1,301	817	253	180	44				2	5				

（備考）推薦入試Ⅰ，佐賀県推薦入学特別入試及びAO入試の合格者（入学手続者）が募集人員に満たなかった場合は，一般入試の前期日程の合格者で補充します。ただし，推薦入試Ⅱの医学部医学科及びAO入試の学校教育課程音楽選修については，一般入試の後期日程の合格者で補充します。

後期日程の募集人員には，婦国子女特別入試及び社会人特別入試の募集人員（若干人）を含みます。

※ 医学科の推薦入試Ⅱ佐賀県枠には「佐賀県医師修学資金」が貸与される5人，長崎県枠には「長崎県医学修学資金」が貸与される1人が含まれます。なお，詳細は推薦入試募集要項に掲載します。

---

## IV 出願資格

---

本学へ出願できる者は、次のいずれかに該当する者となります。

### 1 一般入試

- ① 高等学校若しくは中等教育学校（以下「高等学校」といいます。）を卒業した者及び平成26年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成26年3月修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成26年3月31日までにこれに該当する見込みの者

（注）同条第7号により出願を希望する者は、事前に入学資格認定の審査を行います。

※申請期間及び申請書類の送付先等

本学の個別の入学資格審査により、入学資格の認定を受けようとする者は、平成25年8月28日(水)までに申請するものとします。

ただし、他大学において入学資格の認定を受け、平成26年度大学入試センター試験に出願し、受理された者については、平成26年1月22日(水)までに申請するものとします。

申請書類を郵送する場合は、必ず書留郵便とし封筒表面に「大学入学資格認定書交付申請」と朱書してください。

**【申請先】 〒840-8502 佐賀市本庄町1番地 佐賀大学学務部入試課 あて  
（電話）0952-28-8178 （ホームページ）<http://www.sao.saga-u.ac.jp/>**

（参考）学校教育法施行規則第150条第7号

大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの

※上記出願資格以外に、平成26年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目(38ページから47ページ参照)のうち一つでも受験しなかった者は、失格となりますので注意してください。

### 2 特別入試（推薦入試Ⅰ，推薦入試Ⅱ）

- ① 高等学校若しくは中等教育学校を平成26年3月卒業見込みの者
- ② 特別支援学校の高等部を平成26年3月卒業見込みの者
- ③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成26年3月修了見込みの者

ただし、医学部医学科【佐賀県枠】及び【長崎県枠】は平成24年4月以降に卒業（修了）を認められた者、文化教育学部人間環境課程健康福祉・スポーツ選修は既卒業（修了）者、経済学部、医学部医学科【一般枠】及び看護学科は平成25年度中に卒業（修了）を認められた者の出願を認めます。

また、50ページから69ページの特別入試（推薦入試Ⅰ，推薦入試Ⅱ）において記載している「高等学校」とは、高等学校、中等教育学校、特別支援学校並びに文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設とします。

### 3 特別入試（帰国子女，社会人，佐賀県推薦入学，AO）及び私費外国人留学生入試

70ページから78ページを参照してください。

---

## V 選抜方法

---

入学者の選抜は、一般入試（前期日程，後期日程）及び特別入試（推薦入試Ⅰ，推薦入試Ⅱ，

帰国子女，社会人，佐賀県推薦入学，AO)並びに私費外国人留学生入試により行います。

## 1 一般入試

- (1) 大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績，調査書の内容を総合的に判断し，合格者を決定します。

大学入試センター試験の受験を要する教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目等は，38ページから47ページを参照してください。

また，大学入試センター試験の成績は，平成26年度大学入試センター試験の成績を用います。

なお，① 文化教育学部においては，学校教育課程（教育学選修，教育心理学選修，障害児教育選修，教科教育選修）及び人間環境課程の個別学力検査（前期日程）の選択教科間（国語，数学，外国語）で選択した試験問題の難易度による不公平を是正するため得点調整を行います。

- ② 医学部においては，入学志願者が，前期日程にあつては医学科，看護学科とも募集人員の約5倍を，後期日程にあつては医学科は約10倍を，看護学科は約7倍を上回り，試験を適切に行うことが困難であると予想される場合には，2段階選抜を実施します。

なお，2段階選抜は，大学入試センター試験の成績及び調査書の審査による選抜を行い，前期日程にあつてはその合格者に対して個別学力検査等を実施し，後期日程にあつてはその合格者に対して調査書の追加として自己推薦書を提出させ，個別学力検査等を実施します。

- (2) 本学が課す大学入試センター試験の受験を要する教科・科目と個別学力検査等の教科・科目等のうち一つでも受験しなかった者は，失格とします。  
 (3) 採点・評価基準，合否判定基準は，募集要項に掲載します。  
 (4) 入学手続締切後，入学手続完了者が入学定員に満たない場合は，原則として追加合格者を決定し補充することとしますが，欠員補充第2次募集を行うこともあります。

\* 個別学力検査等実施日程

前期日程	出願期間		平成26年1月27日(月)～2月5日(水)
	試験日	文化教育学部，経済学部， 理工学部，農学部	平成26年2月25日(火)
		医学部	平成26年2月25日(火)～26日(水)
	合格者発表日		平成26年3月7日(金)
後期日程	出願期間		平成26年1月27日(月)～2月5日(水)
	試験日	文化教育学部，経済学部， 理工学部，農学部	平成26年3月12日(水)
		医学部	平成26年3月12日(水)～13日(木)
	合格者発表日		平成26年3月21日(金)

## 2 特別入試

- (1) 推薦入試……50ページから69ページ「特別入試（推薦入試Ⅰ，推薦入試Ⅱ）」を参照してください。  
 (2) 帰国子女……70ページから71ページ「特別入試（帰国子女）」を参照してください。  
 (3) 社会人……72ページ「特別入試（社会人）」を参照してください。  
 (4) 佐賀県推薦入学……73ページから74ページ「特別入試（佐賀県推薦入学）」を参照してください。  
 (5) A O……75ページから76ページ「特別入試（AO）」を参照してください。

- 3 私費外国人留学生入試……77ページから78ページ「私費外国人留学生入試」を参照してください。

# 平成26年度 佐賀大学入学者選抜方法等

(一般入試, 専門高校・総合学科卒業生入試)

[前期日程]

入試方法等 学部, 学科・課程等名		個別学力検査等							専門高校・総合学科卒業生入試					個別学力検査等の日程	備考 (欠員の補充の方法等)		
		個別学力検査を課する	実技検査等			2段階選抜				個別学力検査を課する	実技検査等					募集人員	
			面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングを課する	主として、調査書の内容と試験内容に段階的に行う	第1段階の合格者数	その他の	定員に対する倍率		面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングを課する				
文化教育学部	教育学選修	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2月25日	入学定員に欠員が生じたときは、原則として追加合格者を決定し補充するが、欠員補充第2次募集を行うこともある。	
	教育心理学選修	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
	障害児教育選修	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
	教科教育選修	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
	理科選修	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
	数学選修	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
	音楽選修	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
国際文化課程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×				
人間環境課程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×				
美術・工芸課程	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×				
経済学部	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×				
医学部	医学科	○	×	○	×	×	○	約5倍	×	×	×	×	×	×	2月25日 ～26日		
	看護学科	×	×	○	○	×	○		×	×	×	×	×	×			
理工学部	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×				
農学部	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×				

# 平成26年度 佐賀大学入学者選抜方法等

(一般入試, 専門高校・総合学科卒業生入試)

[後期日程]

入試方法等 学部, 学科・課程等名		個別学力検査等							専門高校・総合学科卒業生入試					個別学力検査等の日程	備考 (欠員の補充の方法等)		
		個別学力検査を課する	実技検査等			2段階選抜				個別学力検査を課する	実技検査等					募集人員	
			面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングを課する	主として、調査書の内容とセンター試験の成績により段階ごとの合格ラインを設定する	第1段階の選抜による合格者数	定員に対する倍率	その他		実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する				外国語におけるリスニングを課する
文化教育学部	教育学選修 教育心理学選修 障害児教育選修 教科教育選修	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3月12日	入学定員に欠員が生じたときは、原則として追加合格者を決定し補充するが、欠員補充第2次募集を行うこともある。
	理科選修	×	×	○(注)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	数学選修	×	×	○(注)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	音楽選修	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	国際文化課程	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	人間環境課程	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	美術・工芸課程	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
経済学部	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
医学部	医学科	×	×	○	×	×	○	約10倍	×	×	×	×	×	×	×	3月12日 ～13日	
	看護学科	×	×	○	×	×	○	約7倍	×	×	×	×	×	×	×		
理工学部	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3月12日	
農学部	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		

(注) 面接は、口頭試問を含みます。

**平成26年度 佐賀大学入学者選抜方法等**  
(特 別 入 試)

入試方法等			推 薦 入 試								帰国子女、社会人等のための特別入試			佐賀県推薦入学	A O 入 試	
			入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する													推薦入試募集人員
			推薦入試Ⅰ	推薦入試Ⅱ	実 技 検 査 等					その他						
			個別学力検査及び大学入試センター試験を免除する	個別学力検査を免除し、大入試センター試験を課する	実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングを課する								
学部、学科・課程等名											帰国子女	中国引揚者等子女	社会人			
文化 教育 学部	学校教育課程	教育学選修 教育心理学選修 障害児教育選修	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		教科教育選修	○	×	○	○(注1)	○	×	×	10人	×	×	×	×	×	
		理学選修 数学選修	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		音楽選修	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	
	国際文化課程	○	×	×	○	○	×	×	6人	×	×	×	×	×		
	人間環境課程	生活・環境・技術選修	○	×	×	○(注1)	○	×	×	4人	×	×	×	×	×	
		健康福祉・スポーツ選修	○	×	○	○	○	×	×	9人	×	×	×	×	○	
	美術・工芸課程	○	×	○	○(注1)	×	×	×	4人	×	×	×	×	×	×	
	経済学部	経済学科				○(注1)				20人						
		経営学科	○	×	×	○(注1)	○	×	×	30人	×	×	×	×	×	
経済法学科									10人							
医学部	医学科	×	○	×	○	○	×	×	44人(注2)	○	×	×	○(注3)	×		
	看護学科	○	×	×	○	○	×	×	20人	×	×	○	×	×		
理工学部	数理科学科	数理科	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×		
		物理科														
	機能物質化学科	知能情報システム学科	○	×	×	○(注1)	○	×	×	2人	○	×	×	×	×	
		物質化学コース 機能材料化学コース	○	×	×	○(注1)	○	×	×	12人	○	×	×	×	×	
	機械システム工学科	○	×	×	○(注1)	○	×	×	5人	○	×	×	×	×		
	電気電子工学科	○	×	×	○(注1)	○	×	×	4人	○	×	×	×	×		
	都市工学科	都市環境基盤コース 建築・都市デザインコース	○	×	×	○(注1)	○	×	×	14人	○	×	×	×	×	
農学部	応用生物科学科	○	×	×	○(注1)	○	×	×	10人	○	×	×	×	×		
	生物環境科学科	生物環境保全学コース														
		資源循環生産学コース	○	×	×	○(注1)	○	×	×	15人	○	×	×	×	×	
		地域社会開発学コース														
生命機能科学科	○	×	×	○(注1)	○	×	×	5人	○	×	×	×	×			

(注1) 面接は、口頭試問を含みます。

(注2) 推薦入試における募集人員44人は、一般枠20人、佐賀県枠23人、長崎県枠1人とします。

(注3) 個別学力検査を免除し、大学入試センター試験を課します。

## 平成26年度大学入試センター試験の利用教科・科目等について

1 平成26年度大学入試センター試験において、「地理歴史・公民」及び「理科」の試験時間において2科目を選択する場合は、解答順に「第1解答科目」及び「第2解答科目」として取扱います。

2 「地理歴史・公民」及び「理科」の得点の取扱いについて

(1) 学部・学科等が受験科目を1科目と指定している場合に2科目受験した場合の取扱いについては、「第1解答科目」の得点を採用します。

学部・学科等が指定した科目は、必ず「第1解答科目」で受験してください。

(2) 学部・学科等が指定する科目を「第1解答科目」で受験せず、「第2解答科目」で受験した場合は、0点として取扱います。

なお、「地理歴史・公民」において、受験が認められていない同一名称を含む科目の組み合わせで2科目を選択した際に、「第1解答科目」を学部・学科等が指定していない科目を受験し、「第2解答科目」で受験した場合は、無資格として取扱い、検定料の一部を返還します。

### \*参考（取扱い例）

地歴・公民の指定科目	第1解答科目 の受験科目	第2解答科目 の受験科目	得点の取扱い
世B, 日B, 地理B, 倫・政経から1	世B	地理A	第1解答科目の「世B」を採用
	地理A	世B	地歴・公民の得点は0点
	世A	世B	無資格とします。

平成26年度 佐賀大学入学者選抜における実施教科・科目等

学部・学科等名及び入学定員等〔平成25年度〕 〔志願倍率〕	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等			
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜	
文化教育学部 〔4.6〕 240人 前期 148 後期 54 その他38	学校教育課程 教育心理学選修 教育心理学選修 20人 前期 14 後期 6	前期 2月25日	国 数 地歴・ 公民 理 外	国【必須】 数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、工、簿・会、情報から2 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 } から1又は2 } から3 現社、倫、政経、倫・政経 } (注1) } (注3) 理総A、理総B、物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰから1又は2(注2) } 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目又は6教科7科目〕	国 数 外	国表Ⅰ・国総 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B(注5) } 英Ⅰ・英Ⅱ・ } リーディング・ライティング } 1教科 選 択	
		後期 3月12日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 } から1(注1) 現社、倫、政経、倫・政経 } 数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、工、簿・会、情報から1(注4) 理総A、理総B、物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰから1(注2) 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科5科目〕	その他	小論文	
	学校教育課程 障害児教育選修 9人 前期 6 後期 3	前期 2月25日	国 数 地歴・ 公民 理 外	国【必須】 数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、工、簿・会、情報から2 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 } から1又は2 } から3 現社、倫、政経、倫・政経 } (注1) } (注3) 理総A、理総B、物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰから1又は2(注2) } 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目又は6教科7科目〕	国 数 外	国表Ⅰ・国総 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B(注5) } 英Ⅰ・英Ⅱ・ } リーディング・ライティング } 1教科 選 択	
		後期 3月12日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 } から1(注1) 現社、倫、政経、倫・政経 } 数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、工、簿・会、情報から1(注4) 理総A、理総B、物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰから1(注2) 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科5科目〕	その他	小論文	
	学校教育課程 教科教育選修 42人 前期 24 後期 8 その他 10	前期 2月25日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世A、世B、日A、日B、地理A、地理Bから1 現社、倫、政経、倫・政経から1 数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、工、簿・会、情報から1(注4) 理総A、理総B、物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰから2 英、独、仏、中、韓から1 〔6教科7科目〕	国 数 外	国表Ⅰ・国総 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B(注5) } 英Ⅰ・英Ⅱ・ } リーディング・ライティング } 1教科 選 択	
		後期 3月12日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 } から1(注1) 現社、倫、政経、倫・政経 } 数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、工、簿・会、情報から1(注4) 理総A、理総B、物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰから1(注2) 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科5科目〕	その他	小論文	
	学校教育課程 理科選修 7人 前期 5 後期 2	前期 2月25日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 } から1(注1) 現社、倫、政経、倫・政経 } 数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、工、簿・会、情報から2 物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰから2 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕	国 数 外	国表Ⅰ・国総 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B(注5) } 英Ⅰ・英Ⅱ・ } リーディング・ライティング } 1教科 選 択	
		後期 3月12日	外	英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕	その他	面接(注6)	

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

外国語において英語を受験した者については、リスニングも含まれます。なお、リスニング未受験の者については、失格とします。(大学入試センターにおいて審査の上、リスニングの免除を許可された者を除きます。)

(注1) 地理歴史及び公民の科目において、2科目受験した場合は、受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を地理歴史及び公民の得点として採用します。

(注2) 理科の科目において、2科目受験した場合は、受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を理科の得点として採用します。

(注3) 地理歴史及び公民並びに理科の受験した科目のうちの「第2解答科目」の中で高得点の科目を採用します。

(注4) 数学の科目において、2科目受験した場合は、受験した科目のうち高得点の科目を採用します。

【個別学力検査等】欄

(注5) 数Bは、「数列」、「ベクトル」から出題します。

(注6) 面接は、口頭試問を含みます。



大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等												特別の入 試方法等
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	調査等	配点 合計	
センター試験	200	*(注1)		200	*(注1)	200					900	外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査	*200			*200		*200					200	
計	*400	*(注1)		*400	*(注1)	*400					1100	
センター試験	200	*200	*200	200	200	200					1000	外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査							200				200	
計	200	*200	*200	200	200	200	200				1200	
センター試験	200	*(注1)		200	*(注1)	200					900	外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査	*200			*200		*200					200	
計	*400	*(注1)		*400	*(注1)	*400					1100	
センター試験	200	*200	*200	200	200	200					1000	外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査							200				200	
計	200	*200	*200	200	200	200	200				1200	
センター試験	200	100	100	200	200	200					1000	推薦 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査	*300			*300		*300					300	
計	*500	100	100	*500	200	*500					1300	
センター試験	200	*200	*200	200	200	200					1000	外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査							200				200	
計	200	*200	*200	200	200	200	200				1200	
センター試験	100	*100	*100	200	300	125					825	外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査	*100			*100		*100					100	
計	*200	*100	*100	*300	300	*225					925	
センター試験	100	*100	*100	200	400	125					925	外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査								100			100	
計	100	*100	*100	200	400	125		100			1025	

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

配点に\*印を付してある教科は選択教科を表します。

センター試験配点欄で、学校教育課程教育学選修・教育心理学選修、障害児教育選修の\*(注1)は、「地理歴史、公民、理科」から2教科3科目又は3教科3科目選択し、配点は各科目100点の合計300点とします。

平成26年度 佐賀大学入学者選抜における実施教科・科目等

学部・学科等名及び入学定員等〔平成25年度〕〔志願倍率〕		学力検査等の区分・日程		大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		
						教科等	科目名等	2段階選抜
文化教育 学 部	学校教育課程 数 学 選 修  7 人 前 期 5 後 期 2	前期 2 月 25 日	国	国【必須】 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, }から1(注1) 現社,倫,政経,倫,政経 数I・数A【必須】 数II・数B【必須】	数	数I・数II・数A・数B(注6)		
			地歴・ 公民 数					
	学校教育課程 音 楽 選 修  5 人 後 期 3 その他 2	後期 3 月 12 日	国	国【必須】 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, }から1(注1) 現社,倫,政経,倫,政経 数I,数I・数A,数II,数II・数B,工,簿・会,情報から1(注5) 理総A,理総B,物I,化I,生I,地学Iから1(注2) 英,独,仏,中,韓から1 [5教科5科目]	その他	実技検査		
			地歴・ 公民 数 理 外					
国際文化課程  60人 前 期 40 後 期 14 その他 6	前期 2 月 25 日	国	国【必須】 世B,日B,地理B, }から2(下記※1参照) 現社,倫,政経 数I,数I・数A,数II,数II・数B, }から1又は2 }から3 工,簿・会,情報 理総A,理総B,物I,化I,生I, }から1又は2 (注3) 地学I } (注2)	国 外	国表I・国総 英I・英II・ リーディング・ライティング			
		地歴・ 公民 数		理 外	その他	小論文		
人間環境課程  60人 前 期 35 後 期 9 その他 16	前期 2 月 25 日	国	国【必須】 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, }から1又は2 }から5 現社,倫,政経,倫,政経 } (注1) } (注4) 数I,数I・数A,数II,数II・数B, }から1又は2 } 工,簿・会,情報 理総A,理総B,物I,化I,生I, }から1又は2(注2) 地学I } 英,独,仏,中,韓から1 [5教科7科目又は6教科7科目]	国 外 数	国表I・国総 数I・数II・数A・数B(注6) } 1教科 英I・英II・ } 選 択 リーディング・ライティング }			
		地歴・ 公民 数		理 外	その他	小論文		

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

外国語において英語を受験した者については、リスニングも含まれます。なお、リスニング未受験の者については、失格とします。(大学入試センターにおいて審査の上、リスニングの免除を許可された者を除きます。)

※1 「地理歴史・公民」の選択は、(地理歴史から2科目)又は(地理歴史1科目、公民1科目)とします。

※2 「地理歴史・公民」の2科目選択の場合は、(地理歴史1科目、公民1科目)とします。

(注1) 地理歴史及び公民の科目において、2科目受験した場合は、受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を地理歴史及び公民の得点として採用します。

(注2) 理科の科目において、2科目受験した場合は、受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を理科の得点として採用します。

(注3) 理科の受験した科目のうち「第2解答科目」及び数学の受験した科目の中で高得点の2科目の得点を採用します。

(注4) 地理歴史及び公民並びに理科の受験した科目のうち「第2解答科目」並びに数学の受験した科目の中で高得点の3科目の得点を採用します。

(注5) 数学の科目において、2科目受験した場合は、受験した科目のうち高得点の科目を採用します。

【個別学力検査等】欄

(注6) 数Bは、「数列」、「ベクトル」から出題します。

(注7) 面接は、口頭試問を含みます。

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等												特別の入 試方法等
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	調査等	配点 合計	
センター試験	200	*100	*100	300	200	200					1000	外国人
個別学力検査				400							400	追加合格
計	200	*100	*100	700	200	200					1400	欠員補充
センター試験	200	*100	*100	400	200	200					1100	外国人
個別学力検査									200		200	
計	200	*100	*100	400	200	200			200		1300	
センター試験	200	*100	*100	100	100	200					700	A O 外国人
個別学力検査								500			500	追加合格
計	200	*100	*100	100	100	200		500			1200	欠員補充
センター試験	300	*300(注1)		*300(注2)		300					1200	推薦 外国人
個別学力検査	400					400					800	追加合格
計	700	*300(注1)		*300(注2)		700					2000	欠員補充
センター試験	300	*300(注1)		*300(注2)		300					1200	外国人
個別学力検査							300				300	
計	300	*300(注1)		*300(注2)		300	300				1500	
センター試験	200	*1000(注3)					200				1400	推薦 A O 外国人
個別学力検査	*200			*200		*200					200	追加合格
計	*400	*1200					*400				1600	欠員補充
センター試験	200	*1000(注3)					200				1400	外国人
個別学力検査							200				200	
計	200	*1000(注3)					200	200			1600	

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

配点に\*印を付してある教科は選択教科を表します。

(注1) 1教科2科目又は2教科2科目選択し、配点は各科目150点の合計300点とします。

(注2) 2教科3科目選択し、配点は各科目100点の合計300点とします。

(注3) 3教科5科目又は4教科5科目選択し、配点は各科目200点の合計1000点とします。

平成26年度 佐賀大学入学者選抜における実施教科・科目等

学部・学科等名等 及び入学定員等 〔平成25年度〕 〔志願倍率〕		学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等		
			教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜
文化教育 学部	美術・工芸課程  30人 前期 19 後期 7 その他 4	前期 2月 25日	国 地歴・ 公民 数	国【必須】 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫,政経 数I,数I・数A,数II,数B,工,簿・会,情報 } から1 (注1) 理総A,理総B,物I,化I,生I,地学I 英,独,仏,中,韓から1 [3教科3科目]	その他	実技検査	
		後期 3月 12日	理 外		その他	実技検査	
経済学部  〔3.9〕  260人  前期 135 後期 65 その他60	経済学科 110人 前期 70 後期 20 その他 20	前期 2月 25日	国 地歴・ 公民 数 外	国【必須】 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, } から1(注2) 現社,倫,政経,倫,政経 数I,数I・数Aから1 数II,数II・数B,工,簿・会,情報から1 英,独,仏,中,韓から1 [4教科5科目]	外	英I・英II・ リーディング・ライティング	
		後期 3月 12日	国 数	国【必須】 数I,数I・数Aから1 数II,数II・数B,工,簿・会,情報から1 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, } から1(注3) 現社,倫,政経,倫,政経 理総A,理総B,物I,化I,生I,地学I 英,独,仏,中,韓から1 [4教科5科目]	その他	小論文	
	経営学科 80人 前期 30 後期 20 その他 30	前期 2月 25日	国 地歴・ 公民 数 外	国【必須】 世B,日B,地理B, } から1(注2) 現社,倫,政経,倫,政経 数I・数A【必須】 数II・数B,工,簿・会,情報から1 物I【必須】 化I【必須】 英【必須】 [5教科7科目]	数理 外 その他	数I・数II・数III・数A・数B・数C(注5) 物I・物II,化I・化II(注6)(注7) 英I・英II・ リーディング・ライティング 面接	約5倍
医学部  〔5.0〕  166人  前期 85 後期 15 その他66	医学科  106人 前期 50 後期 10 その他 46	後期 3月 12日・ 13日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世B,日B,地理B, } から1(注2) 現社,倫,政経,倫,政経 数I・数A【必須】 数II・数B,工,簿・会,情報から1 物I,化I,生Iから2 英【必須】 [5教科7科目]	その他	面接	約10倍
		前期 2月 25日・ 26日	国 地歴・ 公民 数	国【必須】 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, } から1(注2) 現社,倫,政経,倫,政経 数I・数A,数II,数II・数B,工,簿・会,情報から1(注4) 物I,化I,生Iから2 英【必須】 [5教科6科目]	その他	小論文 面接	約5倍
	看護学科  60人 前期 35 後期 5 その他 20	後期 3月 12日・ 13日	理 外		その他	面接	約7倍
		前期 2月 25日・ 26日	国 地歴・ 公民 数				

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄  
外国語において英語を受験した者については、リスニングも含まれます。なお、リスニング未受験の者については、失格とします。(大学入試センターにおいて審査の上、リスニングの免除を許可された者を除きます。)  
医学部において、「工業数理基礎」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了(見込み)者に限ります。  
(注1) 地理歴史及び公民並びに理科の受験した科目のうちの「第1解答科目」並びに数学の受験した科目の中で高得点の1科目の得点を採用します。  
(注2) 地理歴史及び公民の科目において、2科目受験した場合は、受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を地理歴史及び公民の得点として採用します。  
(注3) 地理歴史及び公民並びに理科の受験した科目のうちの「第1解答科目」の中で高得点の1科目の得点を採用します。  
(注4) 数学の科目において、2科目受験した場合は、受験した科目のうち高得点の科目を採用します。  
【個別学力検査等】欄  
(注5) 数Bは、「数列」、「ベクトル」から、数Cは、「行列とその応用」、「式と曲線」から出題します。  
(注6) 物IIは、「力と運動」、「電気と磁気」、「物質と原子(原子、分子の運動のみ)」から出題します。  
(注7) 化IIの「生活と物質」、「生命と物質」について出題する場合は、併置出題とし、一方を選択解答とします。

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等												特別の入 試方法等
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	調査等	配点計	
センター試験	200	*200	*200	*200	*200	200					600	推 薦 外 国 人  追加合格
個別学力検査								500			500	
計	200	*200	*200	*200	*200	200		500			1100	
センター試験	200	*200	*200	*200	*200	200					600	欠員補充
個別学力検査								600			600	
計	200	*200	*200	*200	*200	200		600			1200	
センター試験	200	*100	*100	200		200					700	推 薦 外 国 人  追加合格
個別学力検査						100					100	
計	200	*100	*100	200		300					800	
センター試験	200	*100	*100	200	*100	200					700	欠員補充
個別学力検査							100				100	
計	200	*100	*100	200	*100	200	100				800	
センター試験	140	*70	*70	140	140	140					630	推 薦 婦 子 女 佐 賀 県 推 薦 外 国 人  追加合格
個別学力検査				80	80	80			☆60	100	400	
計	140	*70	*70	220	220	220			60	100	1030	
センター試験	140	*70	*70	140	140	140					630	欠員補充
個別学力検査									☆180	100	280	
計	140	*70	*70	140	140	140			180	100	910	
センター試験	140	*70	*70	100	200	140					650	推 薦 社 会 人  追加合格
個別学力検査							100		☆60	100	260	
計	140	*70	*70	100	200	140	100		60	100	910	
センター試験	140	*70	*70	100	140	140					590	欠員補充
個別学力検査									☆180	100	280	
計	140	*70	*70	100	140	140			180	100	870	

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

配点に\*印を付してある教科は選択教科を表します。

配点に☆印を付してある面接は、評価が低い場合は不合格とすることがあります。

## 平成26年度 佐賀大学入学者選抜における実施教科・科目等

学部・学科等名及び入学定員等〔平成25年度〕 〔志願倍率〕	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等			
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜	
理工学部 [5.9] 490人 前期 364 後期 89 その他37	数理学科 前期 30人 後期 24 その他 6 その他 若干	前期 2月25日	国 地歴・公民 数	国【必須】 世B, 日B, 地理B, }から1(注1) 倫・政経 数I・数A【必須】 数II・数B, 工, 簿・会, 情報から1 物I, 化I, 生I, 地学Iから2 英, 独, 仏, 中, 韓から1	数理	数I・数II・数III・数A・数B・数C(注2) 物I・物II, 化I・化IIから1(注3)(注4)(注5)	
		後期 3月12日	理 外	[5教科7科目]	数	数I・数II・数III・数A・数B・数C(注2)	
	物理学科 前期 40人 後期 32 その他 8 その他 若干	前期 2月25日	国 地歴・公民 数	国【必須】 世B, 日B, 地理B, }から1(注1) 倫・政経 数I・数A【必須】 数II・数B, 工, 簿・会, 情報から1 物I, 化I, 生I, 地学Iから2 英, 独, 仏, 中, 韓から1	数理	数I・数II・数III・数A・数B・数C(注2) 物I・物II(注3)	
		後期 3月12日	理 外	[5教科7科目]	理	物I・物II(注3)	
	知能情報システム学科 前期 60人 後期 48 その他 10 その他 2	前期 2月25日	国 地歴・公民 数	国【必須】 世B, 日B, 地理B, }から1(注1) 倫・政経 数I・数A【必須】 数II・数B, 工, 簿・会, 情報から1 物I, 化I, 生I, 地学Iから2 英, 独, 仏, 中, 韓から1	数理	数I・数II・数III・数A・数B・数C(注2) 物I・物II, 化I・化IIから1(注3)(注4)(注5)	
		後期 3月12日	理 外	[5教科7科目]	数理	数I・数II・数III・数A・数B・数C(注2) 物I・物II(注3) }から1 (注6)	
	機能物質化学科 前期 90人 後期 62 その他 16 その他 12	前期 2月25日	国 地歴・公民 数	国【必須】 世B, 日B, 地理B, }から1(注1) 倫・政経 数I・数A【必須】 数II・数B, 工, 簿・会, 情報から1 物I, 化I, 生I, 地学Iから2 英, 独, 仏, 中, 韓から1	数理	数I・数II・数III・数A・数B・数C(注2) 物I・物II, 化I・化IIから1(注3)(注4)(注5)	
		後期 3月12日	理 外	[5教科7科目]	理	化I・化II(注4)	

### 【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

「工業数理基礎」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。

外国語において英語を受験した者については、リスニングも含まれます。なお、リスニング未受験の者については、失格とします。（大学入試センターにおいて審査の上、リスニングの免除を許可された者を除きます。）

（注1）地理歴史及び公民の科目において、2科目受験した場合は、受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を地理歴史及び公民の得点として採用します。

### 【個別学力検査等】欄

（注2）数Bは、「数列」、「ベクトル」から、数Cは、「行列とその応用」、「式と曲線」から出題します。

（注3）物IIは、「力と運動」、「電気と磁気」、「物質と原子（原子、分子の運動のみ）」から出題します。

（注4）化IIの「生活と物質」、「生命と物質」について出題する場合は、併置出題とし、一方を選択解答とします。

（注5）「物理」と「化学」はいずれか1科目を選択し、受験することになります。

（注6）数学及び物理の2科目を受験した場合は、受験した科目のうち高得点の科目を採用します。

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等												特別の入 試方法等
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	調査等	配点 合計	
センター試験	200	*100	*100	200	200	200					900	帰国子女 外国人 追加合格
個別学力検査				360	240						600	
計	200	*100	*100	560	440	200					1500	
センター試験	100	*50	*50	150	150	150					600	欠員補充
個別学力検査				400							400	
計	100	*50	*50	550	150	150					1000	
センター試験	200	*100	*100	200	200	200					900	帰国子女 外国人 追加合格
個別学力検査				360	240						600	
計	200	*100	*100	560	440	200					1500	
センター試験	100	*50	*50	150	150	150					600	欠員補充
個別学力検査					400						400	
計	100	*50	*50	150	550	150					1000	
センター試験	200	*100	*100	200	200	200					900	推 薦 帰国子女 外国人 追加合格
個別学力検査				360	240						600	
計	200	*100	*100	560	440	200					1500	
センター試験	100	*50	*50	150	150	150					600	欠員補充
個別学力検査				*400	*400						400	
計	100	*50	*50	*550	*550	150					1000	
センター試験	200	*100	*100	200	200	200					900	推 薦 帰国子女 外国人 追加合格
個別学力検査				360	240						600	
計	200	*100	*100	560	440	200					1500	
センター試験	100	*50	*50	150	150	150					600	欠員補充
個別学力検査					400						400	
計	100	*50	*50	150	550	150					1000	

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄  
配点に\*印を付してある教科は選択教科を表します。

平成26年度 佐賀大学入学者選抜における実施教科・科目等

学部・学科等名及び入学定員等〔平成25年度〕 〔志願倍率〕	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜
理工学部 機械システム工学科 90人 前期 68 後期 17 その他 5	前期 2月25日	国 地歴・公民 数 理 外	国【必須】 世B, 日B, 地理B, } から1(注1) 倫・政経 数I・数A【必須】 数II・数B, 工, 簿・会, 情報から1 物I, 化I, 生I, 地学Iから2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]	数 理	数I・数II・数III・数A・数B・数C(注2) 物I・物II(注3)	
	前期 2月25日	国 地歴・公民 数 理 外	国【必須】 世B, 日B, 地理B, } から1(注1) 倫・政経 数I・数A【必須】 数II・数B, 工, 簿・会, 情報から1 物I, 化I, 生I, 地学Iから2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]	数 理	数I・数II・数III・数A・数B・数C(注2) 物I・物II(注3) 化I・化II(注4)} から1(注5)	
	前期 2月25日	国 地歴・公民 数 理 外	国【必須】 世B, 日B, 地理B, } から1(注1) 倫・政経 数I・数A【必須】 数II・数B, 工, 簿・会, 情報から1 物I, 化I, 生I, 地学Iから2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]	数 理	数I・数II・数III・数A・数B・数C(注2) 物I・物II(注3)	
	前期 2月25日	国 地歴・公民 数 理 外	国【必須】 世B, 日B, 地理B, } から1(注1) 倫・政経 数I・数A【必須】 数II・数B, 工, 簿・会, 情報から1 物I, 化I, 生I, 地学Iから2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]	数 理	数I・数II・数III・数A・数B・数C(注2) 物I・物II(注3)	

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄  
「工業数理基礎」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。  
外国語において英語を受験した者については、リスニングも含まれます。なお、リスニング未受験の者については、失格とします。（大学入試センターにおいて審査の上、リスニングの免除を許可された者を除きます。）  
（注1）地理歴史及び公民の科目において、2科目受験した場合は、受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を地理歴史及び公民の得点として採用します。

【個別学力検査等】欄  
（注2）数Bは、「数列」、「ベクトル」から、数Cは、「行列とその応用」、「式と曲線」から出題します。  
（注3）物IIは、「力と運動」、「電気と磁気」、「物質と原子（原子、分子の運動のみ）」から出題します。  
（注4）化IIの「生活と物質」、「生命と物質」について出題する場合は、併置出題とし、一方を選択解答とします。  
（注5）「物理」と「化学」はいずれか1科目を選択し、受験することになります。  
（注6）「数学」及び「物理」又は「数学」及び「化学」の2科目を受験した場合は、受験した科目のうち高得点の科目を採用します。



大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等												特別の入試方法等
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	調査等	配点計	
センター試験	200	*100	*100	200	200	200					900	推薦 帰国子女 外国人
個別学力検査				360	240						600	
計	200	*100	*100	560	440	200					1500	
センター試験	100	*50	*50	150	150	150					600	欠員補充
個別学力検査				400							400	
計	100	*50	*50	550	150	150					1000	
センター試験	200	*100	*100	200	200	200					900	推薦 帰国子女 外国人
個別学力検査				360	240						600	
計	200	*100	*100	560	440	200					1500	
センター試験	100	*50	*50	150	150	150					600	欠員補充
個別学力検査				*400	*400						400	
計	100	*50	*50	*550	*550	150					1000	
センター試験	200	*100	*100	200	200	200					900	推薦 帰国子女 外国人
個別学力検査				360	240						600	
計	200	*100	*100	560	440	200					1500	
センター試験	100	*50	*50	150	150	150					600	欠員補充
個別学力検査					400						400	
計	100	*50	*50	150	550	150					1000	
センター試験	150	*50	*50	100	200	100					600	推薦 帰国子女 外国人
個別学力検査				200		200					400	
計	150	*50	*50	300	200	300					1000	
センター試験	100	*50	*50	100	200	100					550	追加合格
個別学力検査				200		200					200	
計	100	*50	*50	300	200	100					750	
センター試験	150	*50	*50	100	200	100					600	推薦 帰国子女 外国人
個別学力検査				200		200					400	
計	150	*50	*50	300	200	300					1000	
センター試験	100	*50	*50	100	200	100					550	追加合格
個別学力検査				200		200					200	
計	100	*50	*50	300	200	100					750	
センター試験	150	*50	*50	100	200	100					600	推薦 帰国子女 外国人
個別学力検査				200		200					400	
計	150	*50	*50	300	200	300					1000	
センター試験	100	*50	*50	100	200	100					550	追加合格
個別学力検査				200		200					200	
計	100	*50	*50	300	200	100					750	

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄  
配点に\*印を付してある教科は選択教科を表します。

**【大学入試センター試験の「外国語」において、「英語」を選択した志願者に対する「リスニング」の取扱い】**

**○文化教育学部**

学校教育課程教育学選修・教育心理学選修，障害児教育選修，教科教育選修，数学選修，人間環境課程及び美術・工芸課程については，筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に圧縮して，利用します。

学校教育課程理科選修については，筆記試験100点とリスニング25点の合計125点とします。

学校教育課程音楽選修については，筆記試験150点とリスニング50点の合計200点とします。

国際文化課程については，筆記試験240点とリスニング60点の合計300点とします。

**○経済学部**

筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に圧縮して，利用します。

**○医学部**

筆記試験（200点満点）を112点に，リスニング（50点満点）を28点に圧縮し，合計140点とします。

**○理工学部**

前期日程については，筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に圧縮して，利用します。

後期日程については，筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を150点満点に圧縮して，利用します。

**○農学部**

筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を100点満点に圧縮して，利用します。

※リスニングを免除された者については，各学部とも，筆記試験（200点満点）の得点のみを利用します。

## 【実技検査(一般入試)の内容】

### 1 文化教育学部学校教育課程音楽選修(後期日程のみ)

すべての受験者に次の(1)~(4)すべてを課す。

#### (1) 新 曲

難易度の異なる旋律を2曲視唱する。

#### (2) 聴 音

難易度の異なる旋律を2曲聴取して記譜する。

#### (3) 声 楽(必ず試験当日までに①②2曲とも学び、暗譜しておくこと)

次の2曲の中から当日指定された1曲を暗譜で歌う。(歌詞は原語)

① 北秋の ニ長調 清水重雄 作詞 信時 潔 作曲

② 'Lasciatemi morire!' ヘ短調 Claudio Monteverdi 作曲

#### (4) 器 楽

次の①, ②の中からいずれかを選んでください。

##### ① ピアノで受験する者

任意のソナタ第1楽章又は終楽章(繰り返しなし)を暗譜で演奏する。

##### ② 管, 弦, 打楽器で受験する者

ア 管, 弦, 打楽器で任意の1曲を暗譜で演奏する。

イ ソナチネ程度以上の任意のピアノ曲1曲を暗譜で演奏する。

### 2 文化教育学部美術・工芸課程(前期日程・後期日程とも)

出願時に(1)か(2)のいずれかを選択する。

#### (1) 木炭による石膏デッサン

※持参道具 素描道具一式

ただし, 木炭紙, 下敷き, カルトン, イーゼルは大学で用意します。

#### (2) 鉛筆による静物デッサン

※持参道具 素描道具一式

ただし, 木炭紙大画用紙, カルトン, イーゼルは大学で用意します。

※(1), (2)ともに6時間の実技検査です。



## 平成26年度 特別入試（推薦入試Ⅰ）

（大学入試センター試験を課さない）

実施学部、 学科・課程等名	文化教育学部 国際文化課程
募集人員	6人
出願要件	次の各号のすべてに該当する者で、高等学校長が責任をもって推薦できる者 (1) 調査書の学習成績概評がA以上であること (2) 高等学校を平成26年3月卒業見込みの者 (3) 合格した場合は、確実に入学できる者
評価基準等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小論文の採点・評価基準 問題内容を理解しているか、論理的な思考力を身に付けているか、適切な表現及び的確な記述がなされているかをみます。</li> <li>●面接の採点・評価基準 勉学意欲、国際社会への問題意識等をみます。</li> <li>●調査書の採点・評価基準 学業成績等をみます。</li> <li>●合否判定基準 書類（調査書及び推薦書）、小論文及び面接の各成績評価を総合して、合格者を決定します。</li> </ul>
出願期間	平成25年11月1日(金)から平成25年11月7日(木)まで
入試期日	平成25年11月29日(金)
合格者発表日	平成25年12月16日(月)
その他	(1) 対象となる高等学校の科 高等学校の全科 (2) 各高等学校から推薦できる人員は、全日制、定時制及び通信制の各課程からそれぞれ2人以内とします。なお、推薦順位は要しません。

**平成26年度 特別入試（推薦入試Ⅰ）**  
（大学入試センター試験を課さない）

実施学部、 学科・課程等名	文化教育学部 人間環境課程（全科推薦）												
募集人員	生活・環境・技術選修 地域・生活文化分野及び環境・技術分野 3人 健康福祉・スポーツ選修 スポーツ分野 9人												
出願要件	次の各号のすべてに該当する者で、高等学校長が責任をもって推薦できる者 (1) 学業成績、人物ともに優れ、地域・生活文化、環境・技術、又はスポーツのいずれかの分野に対し興味・関心を有する者 ただし、スポーツ分野を希望する者は、優れた競技実績・技能を有し、入学後、当該種目の競技活動を継続できる者 (2) 地域・生活文化分野及び環境・技術分野では、高等学校を平成26年3月に卒業見込みの者 ただし、総合学科推薦との重複出願は認めません。 スポーツ分野では、高等学校を卒業した者及び平成26年3月に卒業見込みの者 (3) 合格した場合は、確実に入学できる者												
評価基準等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小論文の採点・評価基準 地域・生活文化分野及び環境・技術分野では、出題されたテーマに対して、テーマの解釈、構成、論理の展開、視点の独自性、表現能力をみます。スポーツ分野では、理解力、論理的思考力、着想力、表現力をみます。</li> <li>●面接の採点・評価基準 地域・生活文化分野及び環境・技術分野では、それぞれの分野に必要な知識、自己の目標や意欲を問います。スポーツ分野では、専門性、意欲関心、判断力、理解力、態度、学習力をみます。</li> <li>●実技検査の採点・評価基準 スポーツ分野では、基礎運動能力、体力、技能をみます。</li> <li>●調査書の採点・評価基準 地域・生活文化分野及び環境・技術分野では、学業成績、部活動、社会活動をみます。スポーツ分野では、活動歴等報告書等（大会要項、成績、記録等内容を確認できるもの。）も併せて、学業成績、部活動（競技歴）、社会活動をみます。</li> <li>●合否判定基準 地域・生活文化分野及び環境・技術分野では、書類（調査書、推薦書及び作文）、小論文及び面接の各成績評価を総合して、合格者を決定します。スポーツ分野では、書類（調査書、推薦書、作文及び活動歴等報告書）、小論文、面接及び実技検査の各成績評価を総合して、合格者を決定します。</li> </ul>												
出願期間	平成25年11月1日(金)から平成25年11月7日(木)まで												
入試期日	平成25年11月29日(金)												
合格者発表日	平成25年12月16日(月)												
その他	<p>(1) 対象となる高等学校の科 高等学校の全科</p> <p>(2) 上記「出願要件」を満たす者であれば、推薦人員を限定しません。</p> <p>(3) スポーツ分野の実技検査は、次の各種目の中から2種目を選択して行います。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">A 50m走</td> <td style="width: 50%;">G 反復横跳び</td> </tr> <tr> <td>B ハンドボール投げ</td> <td>H サッカー</td> </tr> <tr> <td>C ランニングジャンプ</td> <td>I バレーボール</td> </tr> <tr> <td>D 背筋力</td> <td>J バスケットボール</td> </tr> <tr> <td>E 握力</td> <td>K 野球またはソフトボール</td> </tr> <tr> <td>F 持久走（男子1,500m、女子1,000m）</td> <td>L 柔道</td> </tr> </table>	A 50m走	G 反復横跳び	B ハンドボール投げ	H サッカー	C ランニングジャンプ	I バレーボール	D 背筋力	J バスケットボール	E 握力	K 野球またはソフトボール	F 持久走（男子1,500m、女子1,000m）	L 柔道
A 50m走	G 反復横跳び												
B ハンドボール投げ	H サッカー												
C ランニングジャンプ	I バレーボール												
D 背筋力	J バスケットボール												
E 握力	K 野球またはソフトボール												
F 持久走（男子1,500m、女子1,000m）	L 柔道												

## 平成26年度 特別入試（推薦入試Ⅰ）

（大学入試センター試験を課さない）

実施学部, 学科・課程等名	文化教育学部 人間環境課程（総合学科推薦）
募集人員	生活・環境・技術選修 地域・生活文化分野あるいは環境・技術分野 1人
出願要件	次の各号のすべてに該当する者で、高等学校長が責任をもって推薦できる者 (1) 学業成績、人物ともに優れ、地域・生活文化分野あるいは環境・技術分野に対して、興味・関心を有する者 (2) 高等学校を平成26年3月卒業見込みの者 (3) 合格した場合は、確実に入学できる者
評価基準等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小論文の採点・評価基準 出題されたテーマに対して、テーマの解釈、構成、論理の展開、視点の独自性、表現能力をみます。</li> <li>●面接の採点・評価基準 志望分野に必要な基礎知識、自己の目標や意欲を問います。</li> <li>●調査書の採点・評価基準 学業成績、部活動、社会活動をみます。</li> <li>●合否判定基準 書類（調査書、推薦書及び作文）、小論文及び面接の各成績評価を総合して、合格者を決定します。</li> </ul>
出願期間	平成25年11月1日(金)から平成25年11月7日(木)まで
入試期日	平成25年11月29日(金)
合格者発表日	平成25年12月16日(月)
その他	<p>(1) 対象となる高等学校の科 総合学科 (注) 専門教育に関する科目（「産業社会と人間」を含みます。）を20単位以上修得（見込みを含みます。）していること。</p> <p>(2) 上記「出願要件」を満たす者であれば、推薦人員を限定しません。</p>

## 平成26年度 特別入試（推薦入試Ⅰ）

（大学入試センター試験を課さない）

実施学部, 学科・課程等名	文化教育学部 美術・工芸課程
募集人員	4人
出願要件	次の各号のすべてに該当する者で、高等学校長が責任をもって推薦できる者 (1) 学業成績、人物ともに特に優れ、美術又は工芸分野における優れた経験・知識・技術・実績及び熱意があると評価される者 (2) 高等学校を平成26年3月卒業見込みの者 (3) 合格した場合は、確実に入学できる者
評価基準等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●面接の採点・評価基準 美術・工芸に関する口頭試問を行い、基礎的知識や制作活動の経験の把握を行うとともに、美術や工芸に関する意欲をみます。学習の目標が明確で、それが美術・工芸課程の内容に合致する者に高い評価を与えます。</li> <li>●実技検査の採点・評価基準 各希望分野の造形力をみます。</li> <li>●調査書の採点・評価基準 特に美術・工芸分野に優れた実績を有する者に高い評価を与えます。なかでも、希望専攻分野における成績が特に優れているかをみます。また、出席状況、クラブ活動、日常生活から充実した高校生活を過ごしたと認められる者で、かつ、美術・工芸課程への入学希望理由が明確であるか等をみます。</li> <li>●合否判定基準 書類（調査書及び推薦書）、面接及び実技検査の各成績評価を総合して、合格者を決定します。 入学志願者が募集人員の約10倍の人数を超える場合には、書類（調査書及び推薦書）により、第1次選考を行う場合があります。</li> </ul>
出願期間	平成25年11月1日(金)から平成25年11月7日(木)まで
入試期日	平成25年11月29日(金)
合格者発表日	平成25年12月16日(月)
その他	(1) 対象となる高等学校の科 高等学校の全科 (2) 各高等学校から推薦できる人員は、全日制、定時制及び通信制の各課程からそれぞれ2人以内とします。なお、推薦順位は要しません。 (3) 実技検査は、石膏デッサン（木炭）、静物デッサン（鉛筆）、油彩、彫塑、平面構成、立体造形A（粘土…ろくろ又は手びねり〔試験時に選択〕）、立体造形B（粘土又は木材等による立体構成）の中から、出願時に1つを選択して受験してください。



## 平成26年度 特別入試（推薦入試Ⅰ）

（大学入試センター試験を課さない）

実施学部、 学科・課程等名	経済学部（商業系の科・情報系の科・総合学科推薦） 経済学科 経営学科
募集人員	経済学科 10人 経営学科 20人
出願要件	次の各号のすべてに該当する者で、高等学校長が責任をもって推薦できる者 (1) 高等学校で成績が最終学年次（最終学年次において外国に留学した者については、その前学年次）に上位10%以内の者で、人物、学力について優れる者 ただし、コース毎等のみの順位による推薦はできません。 (2) 高等学校を平成26年3月卒業見込みの者（平成25年度中に高等学校の卒業を認められた者を含みます。） (3) 合格した場合は、確実に入学できる者
評価基準等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小論文の採点・評価基準 資料を提示の上、それについての読解力、着眼力、思考力、文章表現力等を基準として評価します。</li> <li>●面接の採点・評価基準 高校生活の活動状況及び将来の学修意欲等について口頭試問します。</li> <li>●調査書等の採点・評価基準 学修状況、資格取得状況、クラブ活動等をみます。</li> <li>●可否判定基準 書類（調査書、推薦書等）、小論文及び面接の成績を総合して判定します。</li> </ul>
出願期間	平成25年11月1日(金)から平成25年11月7日(木)まで
入試期日	平成25年11月29日(金)
合格者発表日	平成25年12月16日(月)
その他	<p>(1) 対象となる高等学校の科 高等学校の商業系の科（商業高等学校の全科を含みます。）情報系の科及び総合学科 （注）ただし、商業系の専門教育に関する科目（「産業社会と人間」及び情報処理に関する基礎科目を含みます。）を20単位以上修得（見込みを含みます。）していることが必要です。</p> <p>(2) 上記「出願要件」を満たす者であれば、推薦人員を限定しません。</p>

**平成26年度 特別入試（推薦入試Ⅰ）**  
 （大学入試センター試験を課さない）

実施学部、 学科・課程等名	経済学部（普通科又はこれに準ずると本学部が認める科推薦） 経済学科 経営学科 経済法学科
募集人員	経済学科 10人 経営学科 10人 経済法学科 10人
出願要件	次の各号のすべてに該当する者で、高等学校長が責任をもって推薦できる者 (1) 社会科学にとりわけ関心があり、かつ、人物について優れ全体の評定平均値が4.0以上の者 ただし、次のうちいずれかの要件を満たす者に限ります。 ① 成績優秀な者（外国語については評定平均値4.3以上とします。） ② 社会事象についての分析や、社会的活動等において優れた実績があり、それを裏付ける資料のある者（ただし、この実績については証明する資料を添付してください。） ③ 個性的で積極性に富み、高等学校長が、大学生活においてその能力を十分に発揮できると評価し、推薦に価すると思われる者 (2) 高等学校を平成26年3月卒業見込みの者（平成25年度中に高等学校の卒業を認められた者を含みます。） (3) 合格した場合は、確実に入学できる者
評価基準等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小論文の採点・評価基準 資料を提示の上、それについての読解力、着眼力、思考力、文章表現力等を基準として評価します。</li> <li>●面接の採点・評価基準 高校生活の活動状況及び将来の学修意欲等について口頭試問します。</li> <li>●調査書等の採点・評価基準 学修状況、クラブ活動等をみます。</li> <li>●合否判定基準 書類（調査書、推薦書等）、小論文及び面接の成績を総合して判定します。</li> </ul>
出願期間	平成25年11月1日(金)から平成25年11月7日(木)まで
入試期日	平成25年11月29日(金)
合格者発表日	平成25年12月16日(月)
その他	(1) 対象となる高等学校の科 高等学校の普通科又はこれに準ずると本学部が認める科 (2) 上記「出願要件」を満たす者であれば、推薦人員を限定しません。

**平成26年度 特別入試（推薦入試Ⅱ）**  
 （大学入試センター試験を課す）

実施学部, 学科・課程等名	医学部 医学科
募集人員	【一般枠】 20人
出願要件	<p>高等学校を平成25年度中に卒業を認められた者又は平成26年3月卒業見込みの者で、次の各号のすべてに該当し、高等学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>(1) 高等学校における学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評がA段階に属し、心身ともに健全である者（<b>Ⓐ</b>に該当する者については、調査書に<b>Ⓐ</b>と標示するように希望します。）</p> <p>(2) 将来、病める人の気持ちが理解できるような思いやりのある温かい心を持つ優れた医師あるいは医学研究者として自主的な研究を積極的に進める才能を持つと期待できる者</p> <p>(3) 合格した場合は、確実に入学できる者</p>
評価基準等	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 小論文の採点・評価基準 資料を提示のうえ、論述式の試験を行うことにより、病める人の身になって医療を実践できる良き医療人となるにふさわしい人間性、及び種々の問題を科学的・論理的に思考し、それを解決しうる能力を評価します。</li> <li>● 面接の採点・評価基準 医学部志望の動機、学習意欲、積極性、生命や医療に対する倫理観、チーム医療の一員となる上で不可欠の協調性やコミュニケーション能力について対話・口述を通して評価し、将来優れた医師になるために十分な適性を備えているかどうか総合的に判断します。</li> <li>● 調査書等の採点・評価基準 単に学業成績優秀というのみでなく、心身ともに健全で規則的生活習慣を保ち、学習意欲、積極性や協調性に富んでいるかを高等学校3年間の行動記録である調査書及び高等学校長の推薦書により評価します。志願者本人による自己推薦書も同様に扱います。</li> </ul>

●大学入試センター試験の利用教科・科目名・配点等

利用教科	科目名等	配点	配点合計
国	国【必須】	140	630
地歴・公民	世B, 日B, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経 }から1 (注1)	*70	
数	数I・数A【必須】 数II・数B, 工, 簿・会, 情報から1 (注2)	140	
理	物I【必須】 化I【必須】	140	
外	英【必須】(注3)	140	

【利用教科・科目名等】の欄

- (注1) 地理歴史及び公民の科目において、2科目受験した場合は、受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を地理歴史及び公民の得点として採用します。
- (注2) 「工業数理基礎」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校においてこれらの科目を履修した者に限ります。
- (注3) 英語については、リスニングも含まれます。なお、リスニング未受験の者については、失格とします。(大学入試センターにおいて審査の上、リスニングの免除を許可された者を除きます。)

【配点】の欄

\*印を付してある教科は選択教科を表します。

なお、英語は筆記試験(200点満点)を112点に、リスニング(50点満点)を28点に圧縮し、合計140点とします。リスニングを免除された者については、筆記試験(200点満点)を140点とします。

大学入試センター試験の成績は平成26年度大学入試センター試験の成績を用いることとし、上記の受験を要する教科・科目のうち一つでも受験しなかった者は、失格となりますので注意してください。

●合否判定基準

大学入試センター試験の成績、小論文、面接、高等学校長の推薦書、調査書等を総合して合格者を決定します。

なお、大学入試センター試験の成績が本学の基準を満たしていない場合、あるいは面接の評価が低い場合は不合格とすることがあります。

入学志願者が募集人員の約5倍を上回り、試験を適切に行うことが困難であると予想される場合には、書類(調査書、推薦書等(学校長推薦書))による第1次選考を実施します。

出願期間	平成25年11月1日(金)から平成25年11月7日(木)まで
入試期日	平成25年11月30日(土)
合格者発表日	平成26年2月13日(木)
その他	(1) 対象となる高等学校の科 高等学校の全科 (2) 各高等学校から推薦できる人員は、2人以内とします。

**平成26年度 特別入試（推薦入試Ⅱ）**  
 （大学入試センター試験を課す）

実施学部, 学科・課程等名	医学部 医学科
募集人員	【佐賀県枠】 23人
出願要件	<p>高等学校を平成24年4月以降に卒業を認められた者又は平成26年3月卒業見込みの者で、次の各号のすべてに該当し、高等学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>(1) 高等学校における学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評がA段階に属し、心身ともに健全である者（①に該当する者については、調査書に①と標示するように希望します。）</p> <p>(2) 病める人の気持ちが理解できるような思いやりのある温かい心を持ち、将来、佐賀県内の医療活動に貢献したいという強い意思を有する者</p> <p>(3) 次のいずれかに該当する者</p> <p>① 佐賀県内の高等学校を卒業又は卒業見込みの者</p> <p>② 佐賀県外の高等学校を卒業又は卒業見込みの者のうち、佐賀県内の小学校、中学校のいずれかを卒業し、保護者※が佐賀県内に平成25年10月1日現在で3年以上在住しているもの（出願手続時に住民票あるいは戸籍の附票で確認します。）  <small>※保護者とは、子女に対して親権を行う者、親権を行う者のないときは、未成年後見人をいう。（本学部における保護者の定義（学校教育法から引用））</small></p> <p>(4) 卒業後は、県内の基幹型臨床研修病院において、初期臨床研修（2年）を受けることを確約できる者</p> <p>(5) 合格した場合は、確実に入学できる者</p>
評価基準等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小論文の採点・評価基準                      資料を提示のうえ、論述式の試験を行うことにより、病める人の身になって医療を実践できる良き医療人となるにふさわしい人間性、及び種々の問題を科学的・論理的に思考し、それを解決しうる能力を評価します。</li> <li>●面接の採点・評価基準                      医学部志望の動機、学習意欲、積極性、生命や医療に対する倫理観、チーム医療の一員となる上で不可欠の協調性やコミュニケーション能力について対話・口述を通して評価し、将来優れた医師になるために十分な適性を備えているかどうか総合的に判断します。</li> <li>●調査書等の採点・評価基準                      単に学業成績優秀というのみでなく、心身ともに健全で規則的生活習慣を保ち、学習意欲、積極性や協調性に富んでいるかを高等学校3年間の行動記録である調査書及び高等学校長の推薦書により評価します。志願者本人による自己推薦書も同様に扱います。</li> </ul>

●大学入試センター試験の利用教科・科目名・配点等			
利用教科	科目名等	配点	配点合計
国	国【必須】	140	630
地歴・公民	世B, 日B, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経 }から1 (注1)	*70	
数	数I・数A【必須】 数II・数B, 工, 簿・会, 情報から1 (注2)	140	
理	物I【必須】 化I【必須】	140	
外	英【必須】(注3)	140	
<p><b>【利用教科・科目名等】の欄</b>  (注1) 地理歴史及び公民の科目において、2科目受験した場合は、受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を地理歴史及び公民の得点として採用します。  (注2) 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校においてこれらの科目を履修した者に限ります。  (注3) 英語については、リスニングも含まれます。なお、リスニング未受験の者については、失格とします。(大学入試センターにおいて審査の上、リスニングの免除を許可された者を除きます。)</p> <p><b>【配点】の欄</b>  *印を付してある教科は選択教科を表します。  なお、英語は筆記試験(200点満点)を112点に、リスニング(50点満点)を28点に圧縮し、合計140点とします。リスニングを免除された者については、筆記試験(200点満点)を140点とします。  大学入試センター試験の成績は平成26年度大学入試センター試験の成績を用いることとし、上記の受験を要する教科・科目のうち一つでも受験しなかった者は、失格となりますので注意してください。</p> <p>●合否判定基準  大学入試センター試験の成績、小論文、面接、高等学校長の推薦書、調査書等を総合して合格者を決定します。  なお、大学入試センター試験の成績が本学の基準を満たしていない場合、あるいは面接の評価が低い場合は不合格とすることがあります。  入学志願者が募集人員の約5倍を上回り、試験を適切に行うことが困難であると予想される場合には、書類(調査書、推薦書等(学校長推薦書))による第1次選考を実施します。</p>			
出願期間	平成25年11月1日(金)から平成25年11月7日(木)まで		
入試期日	平成25年11月30日(土)		
合格者発表日	平成26年2月13日(木)		
その他	(1) 対象となる高等学校の科 高等学校の全科 (2) 上記「出願要件」を満たす者であれば、推薦人員を限定しません。 (3) 推薦入試【佐賀県枠】の合格者(入学手続者)は、佐賀県への申請により、卒業後佐賀県内で医療活動に従事し地域医療を担う人材を育成するための「佐賀県医師修学資金」が5人に貸与されます。		

**平成26年度 特別入試（推薦入試Ⅱ）**  
 （大学入試センター試験を課す）

実施学部, 学科・課程等	医学部 医学科
募集人員	【長崎県枠】 1人
出願要件	<p>高等学校を平成24年4月以降に卒業を認められた者又は平成26年3月卒業見込みの者で、次の各号の全てに該当し、高等学校長が責任を持って推薦できる者</p> <p>(1) 高等学校における学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評がA段階に属し、心身ともに健全である者（<b>㊤</b>に該当する者については、調査書に<b>㊤</b>と標示するように希望します。）</p> <p>(2) 病める人の気持ちが理解できるような思いやりのある温かい心を持ち、将来、長崎県内の地域医療に貢献したいと強い意思を有する者</p> <p>(3) 次のいずれかに該当する者</p> <p>① 長崎県内の小学校又は中学校を卒業した者</p> <p>② 長崎県内の高等学校を卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(4) 入学後は「長崎県医学修学資金」の貸与を受け、大学卒業後は長崎県が指定する長崎県内医療機関等で診療に従事することを確約できる者</p> <p>(5) 合格した場合は、確実に入学できる者</p>
評価基準等	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 小論文の採点・評価基準                  資料を提示のうえ、論述式の試験を行うことにより、病める人の身になって医療を実践できる良き医療人となるにふさわしい人間性、及び種々の問題を科学的・論理的に思考し、それを解決しうる能力を評価します。</li> <li>● 面接の採点・評価基準                  医学部志望の動機、学習意欲、積極性、生命や医療に対する倫理観、チーム医療の一員となる上で不可欠の協調性やコミュニケーション能力について対話・口述を通して評価し、将来優れた医師になるために十分な適正を備えているかどうか総合的に判断します。</li> <li>● 調査書等の採点・評価基準                  単に学業成績優秀というのみでなく、心身ともに健全で規則的生活習慣を保ち、学習意欲、積極性や協調性に富んでいるかを高等学校3年間の行動記録である調査書及び高等学校長の推薦書により評価します。志願者本人による自己推薦書も同様に扱います。</li> </ul>

● 大学入試センター試験の利用教科・科目名・配点等

利用教科	科目名等	配点	配点合計
国	国【必須】	140	630
地歴・公民	世B, 日B, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 (注1)	*70	
数	数I・数A【必須】 数II・数B, 工, 簿, 会, 情報から1 (注2)	140	
理	物I【必須】 化I【必須】	140	
外	英【必須】(注3)	140	

【利用教科・科目名等】の欄

- (注1) 地理歴史及び公民の科目において、2科目受験した場合は、受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を地理歴史及び公民の得点として採用します。
- (注2) 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校においてこれらの科目を履修した者に限ります。
- (注3) 英語については、リスニングも含まれます。なお、リスニング未受験の者については、失格とします。(大学入試センターにおいて審査の上、リスニングの免除を許可された者を除きます。)

【配点】の欄

\*印を付してある教科は選択教科を表します。

なお、英語は筆記試験(200点満点)を112点に、リスニング(50点満点)を28点に圧縮し、合計140点とします。リスニングを免除された者については、筆記試験(200点満点)を140点とします。

大学入試センター試験の成績は平成26年度大学入試センター試験の成績を用いることとし、上記の受験を要する教科・科目のうち一つでも受験しなかった者は、失格となりますので注意してください。

● 合否判定基準

大学入試センター試験の成績、小論文、面接、高等学校長の推薦書、調査書等を総合して合格者を決定します。

なお、大学入試センター試験の成績が本学の基準を満たしていない場合、あるいは面接の評価が低い場合は不合格とすることがあります。

入学志願者が募集人員の約10倍を上回り、試験を適切に行うことが困難であると予想される場合には、書類(調査書、推薦書等(学校長推薦書))による第1次選考を実施します。

出願期間	平成25年11月1日(金)から平成25年11月7日(木)まで
入試期日	平成25年11月30日(土)
合格者発表日	平成26年2月13日(木)
その他	(1) 対象となる高等学校の科 高等学校の全科 (2) 各高等学校から推薦できる人員は、1人とする。 (3) 長崎県医学修学資金については、長崎県福祉保健部医療人材対策室(TEL. 095-895-2421)まで問い合わせること。



**平成26年度 特別入試（推薦入試Ⅰ）**  
 （大学入試センター試験を課さない）

実施学部、 学科・課程等名	医学部 看護学科
募集人員	20人（うち、2人以内を専門系の科及び総合学科から募集します。）
出願要件	次の各号のすべてに該当する者で、高等学校長が責任をもって推薦できる者 (1) 高等学校における学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評がA段階に属し、心身ともに健全である者（④に該当する者については、調査書に④と標示するように希望します。） (2) 将来、病める人の気持ちが理解できるような思いやりのある温かい心を持つ優れた看護職者あるいは看護学研究者として自主的な研究を積極的に進める才能を持つと期待できる者 (3) 高等学校を平成26年3月に卒業見込みの者（平成25年度中に高等学校の卒業を認められた者を含みます。） (4) 合格した場合は、確実に入学できる者
評価基準等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小論文の採点・評価基準 資料を提示のうえ、論述式の試験を行うことにより、病める人の身になって医療を実践できる良き医療人となるにふさわしい人間性、及び種々の問題を科学的・論理的に思考し、それを解決しうる能力を評価します。</li> <li>●面接の採点・評価基準 医学部志望の動機、学習意欲、積極性、生命や医療に対する倫理観、チーム医療の一員となる上で不可欠の協調性やコミュニケーション能力について対話・口述を通して評価し、将来優れた看護職者になるために十分な適性を備えているかどうか総合的に判断します。</li> <li>●調査書等の採点・評価基準 単に学業成績優秀というのみでなく、心身ともに健全で規則的生活習慣を保ち、学習意欲、積極性や協調性に富んでいるかを高等学校3年間の行動記録である調査書及び高等学校長の推薦書により評価します。志願者本人による自己推薦書も同様に扱います。</li> <li>●合否判定基準 小論文、面接、高等学校長の推薦書、調査書等を総合して合格者を決定します。 なお、面接の評価が低い場合は不合格とすることがあります。 入学志願者が募集人員の約5倍を上回り、試験を適切に行うことが困難であると予想される場合には、書類（調査書、推薦書等（学校長推薦書））による第1次選考を実施します。</li> </ul>
出願期間	平成25年11月1日(金)から平成25年11月7日(木)まで
入試期日	平成25年11月30日(土)
合格者発表日	平成25年12月16日(月)
その他	(1) 対象となる高等学校の科 高等学校の全科 (2) 各高等学校から推薦できる人員は、2人以内とします。

**平成26年度 特別入試（推薦入試Ⅰ）**  
 （大学入試センター試験を課さない）

実施学部、 学科・課程等名	理工学部（情報系の科・総合学科推薦） 知能情報システム学科
募集人員	知能情報システム学科 2人
出願要件	次の各号のすべてに該当する者で、高等学校長が責任をもって推薦できる者 (1) 学習成績、人物ともに優れ、科学技術に対する熱意と能力があると評価される者 (2) 高等学校を平成26年3月卒業見込みの者 (3) 合格した場合は、確実に入学できる者
評価基準等	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 小論文の採点・評価基準 出題されたテーマに対し、テーマの解釈、構成、論理の展開、視点の独自性、表現能力をみます。</li> <li>● 面接の採点・評価基準 志望学科に必要な基礎知識、自己の目標や志望学科に対する意欲等について口頭試問します。</li> <li>● 調査書の採点・評価基準 学業成績、クラブ活動や、情報及び理数関連の実績等学業以外の活動が志望動機となっている場合も評価します。</li> <li>● 合否判定基準 書類（調査書、推薦書等）、小論文及び面接の成績を総合して判定します。</li> </ul>
出願期間	平成25年11月1日(金)から平成25年11月7日(木)まで
入試期日	平成25年11月29日(金)
合格者発表日	平成25年12月16日(月)
その他	(1) 対象となる高等学校の科 高等学校の情報系の科及び総合学科 （注）高等学校の総合学科については、学科に係る専門教育に関する科目（「産業社会と人間」を含みます。）を20単位以上修得（見込みを含みます。）していること。 (2) 上記「出願要件」を満たす者であれば、推薦人員を限定しません。

**平成26年度 特別入試（推薦入試Ⅰ）**  
 （大学入試センター試験を課さない）

実施学部、 学科・課程等名	理工学部（工業系の科・総合学科推薦） 機能物質化学科 機械システム工学科 電気電子工学科 都市工学科
募集人員	機能物質化学科 2人 機械システム工学科 5人 電気電子工学科 4人 都市工学科 4人
出願要件	次の各号のすべてに該当する者で、高等学校長が責任をもって推薦できる者 (1) 学習成績、人物ともに優れ、科学技術に対する熱意と能力があると評価される者 (2) 高等学校を平成26年3月卒業見込みの者 (3) 合格した場合は、確実に入学できる者
評価基準等	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 小論文の採点・評価基準 出題されたテーマに対し、テーマの解釈、構成、論理の展開、視点の独自性、表現能力をみます。</li> <li>● 面接の採点・評価基準 志望学科に必要な基礎知識、自己の目標や志望学科に対する意欲等について口頭試問します。</li> <li>● 調査書の採点・評価基準 学業成績、クラブ活動や理数関連の実績等学業以外の活動が志望動機となっている場合も評価します。</li> <li>● 合否判定基準 書類（調査書、推薦書等）、小論文及び面接の成績を総合して判定します。</li> </ul>
出願期間	平成25年11月1日(金)から平成25年11月7日(木)まで
入試期日	平成25年11月29日(金)
合格者発表日	平成25年12月16日(月)
その他	(1) 対象となる高等学校の科 機能物質化学科：高等学校の工業系の科及び総合学科 （注）工業系の科については全科を対象とします。 機械システム工学科：高等学校の機械系の科及び総合学科 電気電子工学科：高等学校の電気・電子・情報系の科及び総合学科 都市工学科：高等学校の土木・建築系の科及び総合学科 （注）高等学校の総合学科については、それぞれの学科に関係する専門教育に関する科目（「産業社会と人間」を含みます。）を20単位以上修得（見込みを含みます。）していること。 (2) 上記「出願要件」を満たす者であれば、推薦人員を限定しません。

## 平成26年度 特別入試（推薦入試Ⅰ）

（大学入試センター試験を課さない）

実施学部、 学科・課程等名	理工学部（普通科・理数科・総合学科推薦） 機能物質化学科 都市工学科
募集人員	機能物質化学科 10人 都市工学科 10人
出願要件	次の各号のすべてに該当する者で、高等学校長が責任をもって推薦できる者 (1) 学習成績、人物ともに優れ、科学技術に対する熱意と能力があると評価される者 (2) 高等学校を平成26年3月卒業見込みの者 (3) 合格した場合は、確実に入学できる者
評価基準等	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 小論文の採点・評価基準 出題されたテーマに対し、テーマの解釈、構成、論理の展開、視点の独自性、表現能力をみます。</li> <li>● 面接の採点・評価基準 志望学科に必要な基礎知識、自己の目標や志望学科に対する意欲等について口頭試問します。</li> <li>● 調査書の採点・評価基準 学業成績、クラブ活動や理数関連の実績等学業以外の活動が志望動機となっている場合も評価します。</li> <li>● 合否判定基準 書類（調査書、推薦書等）、小論文及び面接の成績を総合して判定します。</li> </ul>
出願期間	平成25年11月1日(金)から平成25年11月7日(木)まで
入試期日	平成25年11月29日(金)
合格者発表日	平成25年12月16日(月)
その他	<p>(1) 対象となる高等学校の科 両学科とも高等学校の普通科・理数科及び総合学科 (注) 高等学校の総合学科については、専門教育に関する科目（「産業社会と人間」を含みます。）の修得単位が20単位未満の者（見込みを含みます。）に限ります。</p> <p>(2) 上記「出願要件」を満たす者であれば、推薦人員を限定しません。</p>

**平成26年度 特別入試（推薦入試Ⅰ）**  
 （大学入試センター試験を課さない）

実施学部、 学科・課程等名	農学部（専門系の科・総合学科推薦） 応用生物科学科 生物環境科学科 生命機能科学科
募集人員	応用生物科学科 3人 生物環境科学科 3人 生命機能科学科 1人
出願要件	次の各号のすべてに該当する者で、高等学校長が責任をもって推薦できる者 (1) 学習成績、人物について優れ、自然科学に対する熱意と能力があると評価される者 (2) 学習成績概評が㊤として推薦できる者 これに該当する者は、調査書の「4. 学習成績概評」欄に㊤と標示し、「9. 備考」欄にその理由を明示してください。 (3) 高等学校を平成26年3月卒業見込みの者 (4) 合格した場合は、確実に入学できる者
評価基準等	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 小論文の採点・評価基準 出題されたテーマについて、考察力、論理的思考力、表現力及び記述力をみます。</li> <li>● 面接の採点・評価基準 必要な基礎知識、自己の目標や志望学科に対する意欲等について口頭試問します。</li> <li>● 調査書の採点・評価基準 学業成績、就学状況、部活動及び社会活動をみます。</li> <li>● 可否判定基準 書類選考（調査書、作文等）、小論文及び面接等の結果を資料として判定の上、合格者を決定します。</li> </ul>
出願期間	平成25年11月1日(金)から平成25年11月7日(木)まで
入試期日	平成25年11月29日(金)
合格者発表日	平成25年12月16日(月)
その他	(1) 対象となる高等学校の科 各学科とも高等学校の専門系の科及び総合学科 （注）高等学校の総合学科については、専門教育に関する科目（「産業社会と人間」を含みます。）を20単位以上修得（見込みを含みます。）していること。 (2) 各高等学校の全日制・定時制及び通信制の各課程から推薦できる人員は、応用生物科学科及び生物環境科学科の各学科に対して2人以内、生命機能科学科に対して1人とします。

**平成26年度 特別入試（推薦入試Ⅰ）**  
 （大学入試センター試験を課さない）

実施学部、 学科・課程等名	農学部（専門系の科を除く全科推薦） 応用生物科学科 生物環境科学科 生命機能科学科
募集人員	応用生物科学科 7人 生物環境科学科 12人 生命機能科学科 4人
出願要件	次の各号のすべてに該当する者で、高等学校長が責任をもって推薦できる者 (1) 学習成績、人物について優れ、自然科学に対する熱意と能力があると評価される者 (2) 高等学校を平成26年3月卒業見込みの者 (3) 合格した場合は、確実に入学できる者
評価基準等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小論文の採点・評価基準 出題されたテーマについて、考察力、論理的思考力、表現力及び記述力をみます。</li> <li>●面接の採点・評価基準 必要な基礎知識、自己の目標や志望学科に対する意欲等について口頭試問します。</li> <li>●調査書の採点・評価基準 学業成績、就学状況、部活動及び社会活動をみます。</li> <li>●合否判定基準 書類選考（調査書、作文等）、小論文及び面接等の結果を資料として判定の上、合格者を決定します。</li> </ul>
出願期間	平成25年11月1日(金)から平成25年11月7日(木)まで
入試期日	平成25年11月29日(金)
合格者発表日	平成25年12月16日(月)
その他	(1) 対象となる高等学校の科 各学科とも高等学校の全科（ただし、専門系の科を除きます。） （注）高等学校の総合学科については、専門教育に関する科目（「産業社会と人間」を含みます。）の修得単位が20単位未満の者（見込みを含みます。）に限ります。 (2) 各高等学校の全日制・定時制及び通信制の各課程から推薦できる人員は、各学科に対して2人以内とします。

推薦入試Ⅰ・推薦入試Ⅱの実技検査等の配点等

学部, 学科・課程等名		区分	書類審査 (調査書, 推薦書等)	小論文	面接	実技検査	大学入試 センター 試験	総合得点 (総合評価)
文化 教育 学部	学校教育 課程 教科 教育 選修	国語教育(書写)	200	200	200 (注1)	100		700
		音楽教育	200	200	200 (注1)	100		700
		造形教育	400	200	100 (注1)	300		1000
		体育教育	200	200	200 (注1)	100		700
		情報技術教育	400	200	200 (注1)	200		1000
	国際文化課程		100	200	100			400
	人間 環境 課程	生活・環境・ 技術選修	200	100	100 (注1)			400
		健康福祉・ スポーツ選修	200	100	200	200		700
	美術・工芸課程		200		400 (注1)	400		1000
	経済 学部	経済学科	商業系の科・ 情報系の科・ 総合学科推薦	40	100	2段階 評価 (合, 否) (注1)		2段階 評価 (合, 否)
経営学科								
経済学科		普通科又はこ れに準ずると 本学部が認め る科推薦	2段階 評価					
経営学科								
経済法学科								
医学 部	医 学 科		380	120	120		630 (注2)	1250
	看 護 学 科		150	200	150			500
理 工 学 部	知能情報システム学科		2段階 評価	3段階 評価 (A, B, C)	3段階 評価 (A, B, C) (注1)		総 合 評 価 (良, 可, 不可)	
	機 能 物 質 化 学 科							
	機 械 シ ス テ ム 工 学 科							
	電 気 電 子 工 学 科							
	都 市 工 学 科							
農 学 部	応 用 生 物 科 学 科		100	200	200 (注1)			500
	生 物 環 境 科 学 科		100	200	200 (注1)			500
	生 命 機 能 科 学 科		100	200	200 (注1)			500

(注1) 面接は、口頭試問を含みます。

(注2) 大学入試センター試験の利用教科・科目名・配点等については、58ページ、60ページ及び62ページを参照してください。

## 平成26年度 特別入試（帰国子女）

実施学部, 学科・課程等名	医学部 医学科
募集人員	若干人
出願要件	<p>日本の国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者であって、外国の学校教育を受けた者のうち、保護者とともに2年以上継続して外国に在留し、次のいずれかに該当する者とします。</p> <p>ただし、平成24年3月31日以前に帰国（一時的な短期の帰国を除きます。）した者及び保護者が帰国した後、本人が帰国するまでの期間が2年以上経過した者は、出願を認めません。</p> <p>(1) 学校教育における12年の課程を平成24年4月1日から平成26年3月31日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者で、原則として、外国において最終学年を含め、2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けている者 ただし、外国に設置された学校等であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校に在学して教育を受けた期間は、「2年以上」という期間には算入しません。</p> <p>(2) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレアの資格証書を平成24年又は平成25年に授与された者で、平成26年3月31日までに18歳に達する者</p> <p>(3) ドイツ連邦共和国の各州において、大学入学資格として認められているアビトゥア資格を平成24年又は平成25年に授与された者で、平成26年3月31日までに18歳に達する者</p> <p>(4) フランス共和国において、大学入学資格として認められているバカロレア資格を平成24年又は平成25年に授与された者で、平成26年3月31日までに18歳に達する者</p>
評価基準等	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学力検査の教科名・科目名等            数学 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C（注1）            理科 物Ⅰ・物Ⅱ，化Ⅰ・化Ⅱ（注2）（注3）            外国語 英Ⅰ・英Ⅱ・リーディング・ライティング            （注1）数Bは、「数列」、「ベクトル」から、数Cは、「行列とその応用」、「式と曲線」から出題します。            （注2）物Ⅱは、「力と運動」、「電気と磁気」、「物質と原子（原子、分子の運動のみ）」から出題します。            （注3）化Ⅱの「生活と物質」、「生命と物質」について出題する場合は、併置出題とし、一方を選択解答とします。</li> <li>● 面接の採点・評価基準            医学部志望の動機、学習意欲、積極性、生命や医療に対する倫理観、チーム医療の一員となる上で不可欠の協調性やコミュニケーション能力について対話・口述を通して評価し、将来優れた医師になるために十分な適性を備えているかどうか総合的に判断します。</li> <li>● 合否判定基準            学力検査、面接、提出書類を総合して最終的な合格者を決定します。            なお、面接の評価が低い場合は不合格とすることがあります。</li> </ul>
出願期間	平成25年11月1日(金)から平成25年11月7日(木)まで
入試期日	平成26年2月25日(火)・2月26日(水)
合格者発表日	平成26年3月7日(金)
その他	大学入試センター試験を免除します。



## 平成26年度 特別入試（帰国子女）

実施学部, 学科・課程等名	<p>理工学部            数理科学科, 物理科学科, 知能情報システム学科, 機能物質化学科,            機械システム工学科, 電気電子工学科, 都市工学科</p> <p>農学部            応用生物科学科, 生物環境科学科, 生命機能科学科</p>
募集人員	各学科 若干人
出願要件	<p>日本国籍を有する者及び日本国の永住権を得ている者であって、外国の学校教育を受けた者のうち、次のいずれかに該当する者とします。</p> <p>(1) 学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含みます。）を外国又は日本において、平成24年4月1日から平成26年3月31日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者で、卒業（修了）時点から起算して過去4年間の内、外国において2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けている者            ただし、外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学して教育を受けた期間は、「2年以上」という期間には算入しません。</p> <p>(2) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレアの資格証書を平成24年又は平成25年に授与された者で、平成26年3月31日までに18歳に達する者</p> <p>(3) ドイツ連邦共和国の各州において、大学入学資格として認められているアビトゥア資格を平成24年又は平成25年に授与された者で、平成26年3月31日までに18歳に達する者</p> <p>(4) フランス共和国において、大学入学資格として認められているバカロレア資格を平成24年又は平成25年に授与された者で、平成26年3月31日までに18歳に達する者</p>
評価基準等	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 小論文の採点・評価基準              出題されたテーマについて、解釈力、論理的思考力、表現力及び記述力等をみます。</li> <li>● 面接の採点・評価基準              必要な基礎知識、自己の目標、志望学科に対する意欲を問います。</li> <li>● 合否判定基準              書類（成績証明書等）、小論文及び面接等の結果を資料として判定の上、合格者を決定します。</li> </ul>
出願期間	平成25年11月1日(金)から平成25年11月7日(木)まで
入試期日	平成25年11月29日(金)
合格者発表日	平成25年12月16日(月)
その他	大学入試センター試験を免除します。

## 平成26年度 特別入試（社会人）

実施学部, 学科・課程等名	医学部 看護学科
募集人員	若干人
出願要件	<p>平成26年4月1日現在、年齢が満21歳以上であり、3年以上社会人としての経験を有する者で、入学後看護学を修める意志があり、卒業後看護の分野で就業する意志のある者で、次のいずれかに該当するものとします。</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校（以下「高等学校」と言います。）を卒業した者  (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者  (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者</p>
評価基準等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小論文の採点・評価基準 資料を提示のうえ、論述式の試験を行うことにより、病める人の身になって医療を実践できる良き医療人となるにふさわしい人間性、及び種々の問題を科学的・論理的に思考し、それを解決しうる能力を評価します。</li> <li>●面接の採点・評価基準 これまでの社会人としての経験を生かした、看護学科志望の動機、学習意欲、積極性、生命や医療に対する倫理観、チーム医療の一員となる上で不可欠の協調性やコミュニケーション能力について対話・口述を通じて評価し、将来優れた看護職者になるために十分な適性を備えているかどうか総合的に判断します。 なお、志願理由書及び調査書は面接にあたって参考にします。</li> <li>●可否判定基準 小論文及び面接の結果を総合して、合格者を決定します。</li> <li>●小論文及び面接の配点 小論文 80点、面接 90点（総得点 170点）</li> </ul>
出願期間	平成25年11月1日(金)から平成25年11月7日(木)まで
入試期日	平成25年11月30日(土)
合格者発表日	平成25年12月16日(月)
その他	大学入試センター試験を免除します。

**平成26年度 特別入試（佐賀県推薦入学）**  
 （大学入試センター試験を課す）

実施学部、 学科・課程等名	医学部 医学科
募集人員	2人
出願要件	<p>次の各号のすべてに該当する者で、佐賀県が責任をもって推薦できる者</p> <p>(1) 病める人の気持ちが理解できるような思いやりのある温かい心を持ち、将来、佐賀県内での医療活動に従事し、県民の健康と福祉の増進に寄与する医師となることを目指す者</p> <p>(2) 高等学校を卒業後2年以内の者又は平成26年3月に卒業見込みの者、若しくは、高等専門学校を第3学年修了後2年以内の者又は平成26年3月修了見込みの者                  ※高等学校には、中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む</p> <p>(3) 合格した場合は、確実に入学できる者</p>
評価基準等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小論文の採点・評価基準                      資料を提示のうえ、論述式の試験を行うことにより、病める人の身になって医療を実践できる良き医療人となるにふさわしい人間性、及び種々の問題を科学的・論理的に思考し、それを解決しうる能力を評価します。</li> <li>●面接の採点・評価基準                      医学部志望の動機、学習意欲、積極性、生命や医療に対する倫理観、チーム医療の一員となる上で不可欠の協調性やコミュニケーション能力について対話・口述を通して評価し、将来優れた医師になるために十分な適性を備えているかどうか総合的に判断します。また、将来、佐賀県内での医療活動に従事し県民の健康と福祉の増進に寄与する医師となることを目指す意思の有無も評価の基準とします。</li> <li>●佐賀県からの推薦書等                      単に学業成績優秀というのみでなく、心身ともに健全で規則的な生活習慣を保ち、学習意欲、積極性や協調性に富んでいるかを、佐賀県からの推薦書及び添付書類を参考に評価します。</li> </ul>

●大学入試センター試験の利用教科・科目名・配点等			
利用教科	科目名等	配点	配点合計
国	国【必須】	140	630
地歴・公民	世B, 日B, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経 }から1 (注1)	*70	
数	数I・数A【必須】 数II・数B, 工, 簿・会, 情報から1 (注2)	140	
理	物I【必須】 化I【必須】	140	
外	英【必須】(注3)	140	
<p><b>【利用教科・科目名等】の欄</b></p> <p>(注1) 地理歴史及び公民の科目において、2科目受験した場合は、受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を地理歴史及び公民の得点として採用します。</p> <p>(注2) 「工業数理基礎」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校においてこれらの科目を履修した者に限ります。</p> <p>(注3) 英語については、リスニングも含まれます。なお、リスニング未受験の者については、失格とします。(大学入試センターにおいて審査の上、リスニングの免除を許可された者を除きます。)</p> <p><b>【配点】の欄</b></p> <p>*印を付してある教科は選択教科を表します。</p> <p>なお、英語は筆記試験(200点満点)を112点に、リスニング(50点満点)を28点に圧縮し、合計140点とします。リスニングを免除された者については、筆記試験(200点満点)を140点とします。</p> <p>大学入試センター試験の成績は平成26年度大学入試センター試験の成績を用いることとし、上記の受験を要する教科・科目のうち一つでも受験しなかった者は、失格となりますので注意してください。</p> <p><b>●合否判定基準</b></p> <p>佐賀県からの推薦理由書等、小論文、面接、大学入試センター試験の成績を総合的に判断して、合格者を決定します。</p> <p>なお、面接の評価が低い場合は不合格とすることがあります。</p>			
出願期間	平成25年11月22日(金)から平成25年11月26日(火)まで (あらかじめ行われる佐賀県による第1次選考に合格し、佐賀県からの推薦を受けた上での出願になります。)		
入試期日	第2次選考日 平成25年11月30日(土)		
合格者発表日	平成26年2月13日(木)		
その他	(1) 出願者は佐賀県在住者だけでなく、日本国内の居住者を対象とします。 (2) 佐賀県から推薦できる人員は6人程度とします。		

**平成26年度 特別入試（AO）**  
 （大学入試センター試験を課さない）

実施学部, 学科・課程等名	文化教育学部 学校教育課程 音楽選修
募集人員	2人
出願要件	<p>音楽選修での勉学を強く希望し、合格した場合は、確実に入学できる者で、次の各号のいずれかに該当する者とします。</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成26年3月卒業見込みの者                  (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成26年3月修了見込みの者                  (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者及び平成26年3月31日までにこれに該当する見込みの者</p>
評価基準等	<p>選考は、第1次選考と第2次選考により行います。</p> <p>(1) 第1次選考                  出願書類（調査書、自己推薦書）の評価を総合して選考します。</p> <p>(2) 第2次選考                  ① 専攻楽器（または声楽）の個別レッスン2回                  ② ソルフエージュ（初見視唱、初見視奏、聴音、その他）の個別レッスン1回                  ③ 小論文（音楽に対する考えと文章表現力を評価する。）                  ④ 面接（楽典や音楽の一般知識を問う試問を含む。）                  上記の評価と第1次選考結果とを総合して、合格者を決定します。</p>
出願期間	平成25年8月12日(月)から平成25年8月19日(月)まで
入試期日	第2次選考日 平成25年9月26日(木)から平成25年9月27日(金)
合格者発表日	第1次選考合格者発表日 平成25年8月30日(金) 最終合格者発表日 平成25年10月4日(金)
その他	自己推薦書は、自身の音楽歴を踏まえて記入してください。（様式については別途指定します。）

**平成26年度 特別入試（A O）**  
 （大学入試センター試験を課さない）

実施学部, 学科・課程等名	文化教育学部 人間環境課程 健康福祉・スポーツ選修
募集人員	スポーツ分野 3人
出願要件	健康福祉・スポーツ選修で、スポーツ分野での勉学を強く希望し、合格した場合は、確実に入学できる者で、次の各号のいずれかに該当する者としてします。 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成24年3月以降に卒業した者及び平成26年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成24年3月以降に修了した者及び平成26年3月修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成24年4月以降にこれに該当する者及び平成26年3月31日までにこれに該当する見込みの者
評価基準等	選考は、第1次選考と第2次選考により行います。 (1) 第1次選考 出願書類（調査書、自己推薦書及び志願者評価書）の評価を総合して選考します。 (2) 第2次選考 面接（健康福祉・スポーツ選修のスポーツ分野に関する試問とプレゼンテーション）の評価と第1次選考結果とを総合して、合格者を決定します。
出願期間	平成25年8月12日(月)から平成25年8月19日(月)まで
入試期日	第2次選考日 平成25年9月19日(木)
合格者発表日	第1次選考合格者発表日 平成25年8月30日(金) 最終合格者発表日 平成25年10月4日(金)
その他	出願書類のうち志願者評価書とは、志願者についてよく知っている成人の第三者(ただし、志願者の3親等以内の親族の者は除きます。)によって作成されたものです。(様式については別途指定します。)

---

## VI 私費外国人留学生入試

---

本学では、私費外国人留学生のために特別の学力検査等を実施します。

### 1 出願資格

日本の国籍を有しない者で、独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」（平成25年6月又は平成25年11月実施のいずれか、医学部は平成25年11月実施のみ）を受験し、TOEFLを受験済みの者（経済学部を除きます。）で、次に掲げる入学資格を有する者

- (1) 日本国外において、学校教育による12年の課程を修了した者及び平成26年3月までに修了見込みの者
- (2) 上記(1)に準ずる者で、文部科学大臣の指定する者

### 2 募集人員

各学部（文化教育学部，経済学部，医学部(医学科のみ)，理工学部，農学部）とも若干人

### 3 入学者選抜方法

- (1) 文化教育学部，経済学部，理工学部，農学部

入学者の選抜は、次表のとおり独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」の成績及びTOEFLの成績並びに本学が行う学力検査・面接を総合的に判断し最終的な合格者を決定します。

- (2) 医学部

入学者の選抜は、次表のとおり独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」の成績及びTOEFLの成績並びに本学が行う学力検査・面接を総合的に判断し最終的な合格者を決定します。

※学力検査の教科・科目名等

数 学 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C（注1）

理 科 物Ⅰ・物Ⅱ，化Ⅰ・化Ⅱ（注2）（注3）

外国語 英Ⅰ・英Ⅱ・リーディング・ライティング

（注1）数Bは、「数列」，「ベクトル」から，数Cは，「行列とその応用」，「式と曲線」から出題します。

（注2）物Ⅱは，「力と運動」，「電気と磁気」，「物質と原子（原子，分子の運動のみ）」から出題します。

（注3）化Ⅱの「生活と物質」，「生命と物質」について出題する場合は，併置出題とし，一方を選択解答とします。

事項	文化教育学部												経済学部	医学部	理工学部	農学部
	学校教育課程							国際文化課程	人間環境課程			美術・工芸課程				
	教育学選修 教育心理学選修 障害児教育選修		教科教育選修		理科選修	数学選修	音楽選修		生活・環境・技術選修	健康福祉・スポーツ選修						
利用する回の指定	6月、11月のいずれか												6月、11月のいずれか	11月	6月、11月のいずれか	6月、11月のいずれか
出題言語の指定	日本語							日本語又は英語				日本語	日本語	日本語	日本語又は英語	日本語
文系と理系の別	文系又は理系 文系 理系		文系又は理系 文系 理系		理系	理系	文系	文系	文系又は理系 文系 理系		文系	文系	文系	理系	理系	理系
日本留学試験	日本語	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	理科	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	○	○	○
	数学(コース1)	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	○	○	○
	数学(コース2)	△	△	△	△	△	△	○	△	△	△	△	△	○	○	○
総合科目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
理科の選択科目	「物理」, 「化学」, 「生物」から 2科目選択		「物理」, 「化学」, 「生物」から 2科目選択		「物理」, 「化学」, 「生物」から 2科目選択	「物理」, 「化学」, 「生物」から 2科目選択	「物理」, 「化学」, 「生物」から 2科目選択	「物理」, 「化学」, 「生物」から 2科目選択	「物理」, 「化学」, 「生物」から 2科目選択	「物理」, 「化学」, 「生物」から 2科目選択	「物理」, 「化学」, 「生物」から 2科目選択	「物理」, 「化学」, 「生物」から 2科目選択	「物理」, 「化学」, 「生物」から 2科目選択	「物理」, 「化学」, 「生物」から 2科目選択	「物理」, 「化学」, 「生物」から 2科目選択	
TOEFL	○												-	○	○	○
学力検査等	面接、日本語(作文)							面接、 実技検査	面接、日本語(作文)				面接、 実技検査	面接、 学力検査	面接	面接
特記事項、備考	美術・工芸課程の実技検査は、鉛筆によるデッサン(実技道具は大学で準備します。)												日本語は、 読解、作文及びリスニングとします。	面接を通して、 志望学科の学業に対する熱意と適性があるかどうかを判断します。	面接を通して、 志望学科の学業に対する熱意と適性があるかどうかを判断します。	面接を通して、 志望学科の学業に対する熱意と適性があるかどうかを判断します。

(注1) ○印は、必ず受験しておくことを示します。  
(注2) △印は、数学のコース1又はコース2から1つを受験しておくことを示します。  
(注3) 各学部第1志望のみ。

#### 日本留学試験、TOEFL、学力検査等の配点等

事項	文化教育学部												経済学部	医学部	理工学部	農学部
	学校教育課程							国際文化課程	人間環境課程			美術・工芸課程				
	教育学選修 教育心理学選修 障害児教育選修		教科教育選修		理科選修	数学選修	音楽選修		生活・環境・技術選修	健康福祉・スポーツ選修						
文系と理系の別	文系又は理系 文系 理系		文系又は理系 文系 理系		理系	理系	文系	文系	文系又は理系 文系 理系		文系	文系	文系	理系	理系	理系
日本語	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	225	450	450	450
理科	200		200		200	200	200		200		200	200	200		200	200
数学	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	100	200	200	200
総合科目	200		200		200		200	200	200		200	200	100	200		200
TOEFL	300												300		300	300
面接	400	400	300	300	400	500	300	400	300	300	400	500	合、否	60	A, B, C	850
日本語	500	500	600	600	500	400	500		600	600	500	400				
学力検査													240			
実技検査								600					400			
総合評価等	2050												合、否	合、否	良、可、不可	合、否

#### 4 出願期間

文化教育学部, 経済学部, 医学部, 理工学部, 農学部	平成26年1月23日(木)~平成26年1月30日(木)
---------------------------------	-----------------------------

#### 5 入試期日

文化教育学部, 経済学部, 理工学部, 農学部	平成26年3月3日(月)
医学部	平成26年2月25日(火)~平成26年2月26日(水)

#### 6 合格者発表日

文化教育学部, 経済学部, 医学部, 理工学部, 農学部	平成26年3月7日(金)
---------------------------------	--------------



## VII 事前相談を要するみなさんへ

本学において、受験上及び修学上の配慮を必要とされる志願者（障がい等を有するなど）は、出願にあたって、次により相談してください。

### 1 相談の時期

A O 入 試 志 願 者	平成25年 7月26日(金)まで
推薦入試・帰国子女特別入試志願者	
社 会 人 特 別 入 試 志 願 者	平成25年10月 4日(金)まで
佐賀県推薦入学特別入試志願者	
私費外国人留学生入試志願者	平成25年12月 6日(金)まで
一 般 入 試 志 願 者	平成26年 1月17日(金)まで

なお、相談の内容によっては、本学の試験までに対応できず、配慮を希望される措置が講じられない場合がありますので、可能な限り早めに相談してください。

また、期限後に本学を志願することとなった場合及び不慮の事故等により障がい等を有することとなった場合は、その時点で速やかに相談してください。

### 2 相談の方法

電話、郵便等にて、下記まで連絡ください。詳細については、その際に説明いたします。

#### 相談及び連絡先

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地 佐賀大学学務部入試課 TEL 0952-28-8178

## VIII 入学者選抜に関する細目の発表及び学生募集要項の請求方法

### 1 細目の発表

- (1) AO入試の学生募集要項（出願方法，試験場等入学者選抜に関する要項の細目）は，7月中旬に発表します。
- (2) 社会人特別入試の学生募集要項（出願方法，試験場等入学者選抜に関する要項の細目）は，9月上旬に発表します。
- (3) 推薦入試及び帰国子女特別入試の学生募集要項（出願方法，試験場等入学者選抜に関する要項の細目）は，9月上旬に発表します。
- (4) 佐賀県推薦入学特別入試の学生募集要項（出願方法，試験場等入学者選抜に関する要項の細目）は，9月上旬に発表します。
- (5) 私費外国人留学生入試の学生募集要項（出願方法，試験場等入学者選抜に関する要項の細目）は，10月上旬に発表します。
- (6) 一般入試の学生募集要項（出願方法，試験場等入学者選抜に関する要項の細目）は，11月上旬に発表します。

### 2 学生募集要項の請求方法等

- (1) インターネットによる請求  
ホームページ上で学生募集要項の請求が行えます。  
佐賀大学入試情報ホームページのアドレスは，

<http://www.sao.saga-u.ac.jp/>

- (2) 郵送による請求  
選抜種別ごとに封筒の表面に学部名と「一般入試学生募集要項請求」，「推薦入試学生募集要項請求」，「帰国子女特別入試学生募集要項請求」，「社会人特別入試学生募集要項請求」，「佐賀県推薦入学特別入試学生募集要項請求」，「AO入試学生募集要項請求」又は「私費外国人留学生入試学生募集要項請求」と朱書し，返信用封筒（角形2号封筒に郵送先を明記し，340円切手を貼り付けたもの。）を同封の上，次へ請求してください。  
請求のあった募集要項と大学案内を送付します。

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地 佐賀大学学務部入試課

(3) 宅配便による配達を希望する請求（料金受取人払い）

- ① 「ファックス」により、請求する学生募集要項の種類、受取人の郵便番号、住所、氏名、電話番号等を様式1に記入し次へ申し込みください。請求のあった学生募集要項と大学案内を送付します。

申込書受付後の取消しはできませんので、注意してください。

（注意）ファックス送信が、確実にできたことを確認するために、申込者はファックス本体の送信結果のリスト等を必ず見てください。

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地 佐賀大学学務部入試課  
Fax 0952-28-8944

- ② 配達は、申込者の住所によって異なりますが、申込書受付後、2～4日後となります。

（注意）ファックスの受付は、平日の9時～17時の間に行います。

- ③ 受取りの際は、中身を確認後、料金を宅配業者に直接支払ってください。

(4) 大学窓口での配布

平日の9時から17時まで、佐賀大学学務部入試課で配布します。

(5) その他の請求方法等（社会人特別入試を除きます。）

〔方法1〕

1) 郵便局で請求する場合（10月より案内開始）

郵便局（普通局、特定局）に設置されている「国公立大学・短期大学及び通信教育課程、大学校募集要項（願書）請求申込書」（郵便局用願書請求カタログ）に必要な事項を記入の上、送料と払込手数料120円を添えて、最寄りの郵便局の窓口で申し込みください。受付から1週間程度で送付されます。なお、請求申込書は高等学校で入手できる場合もあります。

2) テレメールで請求する場合

- ① 下記のいずれかの方法でアクセスしてください。

インターネットの場合 (パソコン・携帯電話・ スマートフォン)	<a href="http://telemail.jp">http://telemail.jp</a> パソコン、携帯電話、 スマートフォンのURL(共通)	携帯電話でQRコードを読み取り、アクセスした場合は資料請求番号の入力は不要です。	
自動音声応答電話の場合	IP 電話 050-8601-0101 ※IP 電話への通話料金は、一般電話回線からは日本全国どこからでも3分毎に約11円です。		

② 希望する資料の資料請求番号（6桁）をプッシュまたは入力してください。

資 料 名	資料請求番号	送 料
大学案内	5 6 7 4 8 2	2 9 0 円
入学者選抜要項	5 8 7 4 8 2	2 1 0 円
入学者選抜要項・大学案内	5 6 7 4 5 2	3 4 0 円
一般入試学生募集要項	5 8 7 4 5 2	2 9 0 円（予定）
一般入試学生募集要項・大学案内	5 4 7 5 5 2	3 4 0 円（予定）
推薦入試・帰国子女特別入試学生募集要項	5 8 7 4 6 2	2 9 0 円（予定）
佐賀県推薦入学特別入試学生募集要項	5 8 7 4 9 2	2 9 0 円（予定）
A O入試学生募集要項	5 4 7 5 6 2	2 1 0 円（予定）
私費外国人留学生入試学生募集要項	5 8 7 4 7 2	2 1 0 円（予定）

③ あとはガイダンスに従って登録してください。

※ 1), 2) の請求方法についてのお問い合わせ先

**テレメールカスタマーセンター**  
TEL 050-8601-0102（9：30～18：00）

〔方法2〕

インターネットで請求する場合

パソコン・携帯電話からのアドレス <http://manabi.benesse.ne.jp/> に申し込みください。


※請求方法についてのお問い合わせ先

**進研アド・物流センター**  
TEL 0740-36-1025（月～金 9：00～17：00）

〔方法3〕

大学情報センター「モバっちょ」で請求する場合

① 下記のいずれかの方法でアクセスしてください。

携帯電話の場合	<p>資料請求料金を携帯電話の通話料金と一緒にお支払いください。 （郵便局等に払い込みに行く必要がありません。）</p> <p>※携帯電話の機種、携帯電話会社との契約状況によりご利用できない場合があります。</p>	<p>携帯電話QRコードを読み取り、アクセスしてください。</p> 
パソコンの場合	<p><a href="http://djc-mb.jp/saga-u/">http://djc-mb.jp/saga-u/</a> （クレジットカード決済のみとなりますが、携帯電話の場合と同じ料金で請求できます。）</p>	

② 資料の種類と送料について

資 料 名	送料（手数料込）
大学案内	250円
一般入試学生募集要項	250円
一般入試学生募集要項・大学案内	300円

③ 請求方法についてのお問い合わせ先

大学情報センター株式会社 モバっちょカスタマーセンター  
TEL 050-3540-5005（平日 10:00~18:00）

- (6) 佐賀県推薦入学特別入試の学生募集要項は、佐賀県健康福祉本部医務課地域医療体制整備室においても配布します。

※お問い合わせ先

〒840-8570 佐賀市城内1-1-59  
佐賀県健康福祉本部医務課地域医療体制整備室  
TEL 0952-25-7033  
<http://www.pref.saga.lg.jp/>

# IX 平成27年度佐賀大学入学者選抜における実施教科・科目等(予告)

平成24年度から実施された新高等学校学習指導要領に対応した平成27年度佐賀大学入学者選抜における実施教科・科目等について、以下のとおり予告します。  
 なお、今後新たに変更が生じた場合は、ホームページ等でお知らせします。

学部・学科等名	学力検査等の区分・日程	【平成27年度】(下線部が変更箇所)			
		大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
学校教育課程 教育学選修 教育心理学選修	前期	国 数 地歴・ 公民 理 外	国【必須】 数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、工、簿・会、情報から2 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 現社、倫、政経、倫・政経 物理、化学、生物、地学、 基礎を付した科目(注1) } から1又は2 英、独、仏、中、韓から1 } から3	国 数 外	国表Ⅰ・国総 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B(注3) } 1教科 英Ⅰ・英Ⅱ・ リーディング・ライティング } 選択
	後期	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 } から1 現社、倫、政経、倫・政経 数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、工、簿・会、情報から1 物理、化学、生物、地学、 基礎を付した科目(注1) } から1 英、独、仏、中、韓から1	その他	小論文
	前期	国 数 地歴・ 公民 理 外	国【必須】 数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、工、簿・会、情報から2 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 現社、倫、政経、倫・政経 物理、化学、生物、地学、 基礎を付した科目(注1) } から1又は2 英、独、仏、中、韓から1 } から3	国 数 外	国表Ⅰ・国総 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B(注3) } 1教科 英Ⅰ・英Ⅱ・ リーディング・ライティング } 選択
	後期	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 } から1 現社、倫、政経、倫・政経 数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、工、簿・会、情報から1 物理、化学、生物、地学、 基礎を付した科目(注1) } から1 英、独、仏、中、韓から1	その他	小論文
文化教育学部 学校教育課程 教科教育選修	前期	国 数 地歴・ 公民 理 外	国【必須】 数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、工、簿・会、情報から2 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 現社、倫、政経、倫・政経 物理、化学、生物、地学、 基礎を付した科目(注1) } から1又は2 英、独、仏、中、韓から1 } から3	国 数 外	国表Ⅰ・国総 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B(注3) } 1教科 英Ⅰ・英Ⅱ・ リーディング・ライティング } 選択
	後期	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 } から1 現社、倫、政経、倫・政経 数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、工、簿・会、情報から1 物理、化学、生物、地学、 基礎を付した科目(注1) } から1 英、独、仏、中、韓から1	その他	小論文
学校教育課程 理科選修	前期	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 } から1 現社、倫、政経、倫・政経 数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、工、簿・会、情報から2 物理、化学、生物、地学、 基礎を付した科目(注1) } から2(注2)	国 数 外	国表Ⅰ・国総 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B(注3) } 1教科 英Ⅰ・英Ⅱ・ リーディング・ライティング } 選択
	後期	理 外	物理、化学、生物、地学、 基礎を付した科目(注1) } から2(注2) 英、独、仏、中、韓から1	その他	面接

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

外国語において英語を受験した者については、リスニングも含まれます。なお、リスニング未受験の者については、失格とします。

(大学入試センターにおいて審査の上、リスニングの免除を許可された者を除きます。)

(注1)「基礎を付した科目」とは、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」の4出題科目のうちから2出題科目を選択することを表します。

(注2)「物理」と「物理基礎」など、同一名称を付した科目を選択することはできません。

【個別学力検査等】欄

(注3) 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Aは、全範囲から出題します。数学Bは「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。ただし、旧課程の受験生に不利とならないよう配慮します。

学部・学科等名	学力検査等の区分・日程	【平成27年度】(下線部が変更箇所)				
		大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	
文化教育学部	学校教育課程 数学選修	前期	国 地歴・ 公民 数	国【必須】 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, } から1 現社,倫,政経,倫・政経 数Ⅰ・数A【必須】 数Ⅱ・数B【必須】	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B(注3)
		後期	理 外	物理,化学,生物,地学, } から1 基礎を付した科目(注1) 英,独,仏,中,韓から1	その他	面接
	学校教育課程 音楽選修	前期	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, } から1 現社,倫,政経,倫・政経 数Ⅰ,数Ⅰ・数A,数Ⅱ,数Ⅱ・数B,工,簿・会,情報から1 物理,化学,生物,地学, } から1 基礎を付した科目(注1) 英,独,仏,中,韓から1	その他	実技検査
		後期	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世B,日B,地理B, } から2(※1) 現社,倫,政経 数Ⅰ,数Ⅰ・数A,数Ⅱ,数Ⅱ・数B,工,簿・会,情報から1又は2 } から3 物理,化学,生物,地学, } から1又は2(注2) 基礎を付した科目(注1) 英,独,仏,中,韓から1	国 外	国表Ⅰ・国総 英Ⅰ・英Ⅱ・ リーディング・ライティング
	国際文化課程	前期	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, } から1 現社,倫,政経,倫・政経 数Ⅰ,数Ⅰ・数A,数Ⅱ,数Ⅱ・数B,工,簿・会,情報から1 物理,化学,生物,地学, } から1 基礎を付した科目(注1) 英,独,仏,中,韓から1	その他	小論文
		後期	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, } から1 現社,倫,政経,倫・政経 数Ⅰ,数Ⅰ・数A,数Ⅱ,数Ⅱ・数B,工,簿・会,情報から1 物理,化学,生物,地学, } から1 基礎を付した科目(注1) 英,独,仏,中,韓から1	国 外	国表Ⅰ・国総 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B(注3) } 1教科 英Ⅰ・英Ⅱ・ } 選 択 リーディング・ライティング }
	人間環境課程	前期	国 数 地歴・ 公民 理 外	国【必須】 数Ⅰ,数Ⅰ・数A,数Ⅱ,数Ⅱ・数B,工,簿・会,情報から2 } から3 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, } から1又は2(※2) 現社,倫,政経,倫・政経 物理,化学,生物,地学, } から1又は2(注2) 基礎を付した科目(注1) 英,独,仏,中,韓から1	国 数 外	国表Ⅰ・国総 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B(注3) } 1教科 英Ⅰ・英Ⅱ・ } 選 択 リーディング・ライティング }
		後期	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, } から1 現社,倫,政経,倫・政経 数Ⅰ,数Ⅰ・数A,数Ⅱ,数Ⅱ・数B,工,簿・会,情報から1 物理,化学,生物,地学, } から1 基礎を付した科目(注1) 英,独,仏,中,韓から1	その他	小論文
	美術・工芸課程	前期	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, } から1 現社,倫,政経,倫・政経 数Ⅰ,数Ⅰ・数A,数Ⅱ,数Ⅱ・数B,工,簿・会,情報 } から1 物理,化学,生物,地学, } から1 基礎を付した科目(注1) 英,独,仏,中,韓から1	その他	実技検査
		後期	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, } から1 現社,倫,政経,倫・政経 数Ⅰ,数Ⅰ・数A,数Ⅱ,数Ⅱ・数B,工,簿・会,情報 } から1 物理,化学,生物,地学, } から1 基礎を付した科目(注1) 英,独,仏,中,韓から1	その他	実技検査

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

外国語において英語を受験した者については、リスニングも含まれます。なお、リスニング未受験の者については、失格とします。

(大学入試センターにおいて審査の上、リスニングの免除を許可された者を除きます。)

(※1)「地理歴史・公民」の選択は、(地理歴史から2科目)又は(地理歴史1科目,公民1科目)とします。

(※2)「地理歴史・公民」の2科目選択の場合は、(地理歴史1科目,公民1科目)とします。

(注1)「基礎を付した科目」とは、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」の4出題科目のうちから2出題科目を選択することを表します。

(注2)「物理」と「物理基礎」など、同一名称を付した科目を選択することはできません。

【個別学力検査等】欄

(注3) 数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Aは, 全範囲から出題します。数学Bは「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。ただし, 旧課程の受験生に不利とならないよう配慮します。

学部・学科等名	学力検査等の区分・日程	【平成27年度】（下線部が変更箇所）			
		大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
経済学部 経済学科 経営学科 経済法学科	前期	国 地歴・ 公民 数 外	国【必須】 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫・政経 } から1 数Ⅰ,数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ,数Ⅱ・数B,工,簿・会,情報から1 英,独,仏,中,韓から1	外	英Ⅰ・英Ⅱ・ リーディング・ライティング
	後期	国 数 地歴・ 公民 理 外	国【必須】 数Ⅰ,数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ,数Ⅱ・数B,工,簿・会,情報から1 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫・政経 } から1 物理,化学,生物,地学, 基礎を付した科目(注1) 英,独,仏,中,韓から1	その他	小論文

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

外国語において英語を受験した者については、リスニングも含まれます。なお、リスニング未受験の者については、失格とします。

(大学入試センターにおいて審査の上、リスニングの免除を許可された者を除きます。)

(注1)「基礎を付した科目」とは、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」の4出題科目のうちから2出題科目を選択することを表します。

学部・学科等名	学力検査等の区分・日程	【平成27年度】（下線部が変更箇所）			
		大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
医学部 医学科	前期	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世B,日B,地理B, } から1 現社,倫,政経,倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A【必須】 数Ⅱ・数B,工,簿・会,情報から1 物理【必須】 化学【必須】 英【必須】	数 理 外 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(注1) 物理,化学(注2) 英Ⅰ・英Ⅱ・ リーディング・ライティング 面接
	後期	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世B,日B,地理B, } から1 現社,倫,政経,倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A【必須】 数Ⅱ・数B,工,簿・会,情報から1 物理,化学,生物から2 英【必須】	その他	面接
看護学部 看護学科	前期	国 地歴・ 公民	国【必須】 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, } から1 現社,倫,政経,倫・政経 } から1	その他	小論文 面接
	後期	数 理 外	数Ⅰ・数A,数Ⅱ,数Ⅱ・数B,工,簿・会,情報から1 物理,化学,生物から2 英【必須】	その他	面接
医学部 医学科	推薦(一般枠,佐賀県枠,長崎県枠,佐賀県推薦)	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世B,日B,地理B, } から1 現社,倫,政経,倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A【必須】 数Ⅱ・数B,工,簿・会,情報から1 物理【必須】 化学【必須】 英【必須】	その他	小論文 面接

【個別学力検査等】欄

(注1) 数学は、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aは全範囲から出題します。数学Bは「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。ただし、旧課程の受験生に不利とならないよう配慮します。

(注2) 理科の出題範囲は次のとおりです。「物理」は「物理基礎」と「物理」を併せた範囲から出題します。「化学」は「化学基礎」と「化学」を併せた範囲から出題します。



学部・学科等名	学力検査等の区分・日程	【平成27年度】(下線部が変更箇所)				
		大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	
理工学部	数理科学科	前期	国 地歴・公民 数	国【必須】 世B, 日B, 地理B, } から1 倫・政経 数Ⅰ・数A【必須】	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(注1) 物理, 化学から1(注2)(注4)
		後期	理 外	数Ⅱ・数B, 工, 簿・会, 情報から1 物理, 化学, 生物, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(注1)
	物理科学科	前期	国 地歴・公民 数	国【必須】 世B, 日B, 地理B, } から1 倫・政経 数Ⅰ・数A【必須】	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(注1) 物理(注2)
		後期	理 外	数Ⅱ・数B, 工, 簿・会, 情報から1 物理, 化学, 生物, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1	理	物理(注2)
	知能情報システム学科	前期	国 地歴・公民 数	国【必須】 世B, 日B, 地理B, } から1 倫・政経 数Ⅰ・数A【必須】	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(注1) 物理, 化学から1(注2)(注4)
		後期	理 外	数Ⅱ・数B, 工, 簿・会, 情報から1 物理, 化学, 生物, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(注1) 物理(注2) } から1 (注3)
	機能物質化学科	前期	国 地歴・公民 数	国【必須】 世B, 日B, 地理B, } から1 倫・政経 数Ⅰ・数A【必須】	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(注1) 物理, 化学から1(注2)(注4)
		後期	理 外	数Ⅱ・数B, 工, 簿・会, 情報から1 物理, 化学, 生物, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1	理	化学(注2)

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

「工業数理基礎」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を選択できる者は, 高等学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了(見込み)者に限ります。

外国語において英語を受験した者については, リスニングも含まれます。なお, リスニング未受験の者については, 失格とします。

(大学入試センターにおいて審査の上, リスニングの免除を許可された者を除きます。)

【個別学力検査等】欄

(注1) 数学は, 数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Ⅲ, 数学Aは全範囲から出題します。数学Bは「数列」, 「ベクトル」を出題範囲とします。ただし, 旧課程の受験生に不利とならないよう配慮します。

(注2) 理科の出題範囲は次のとおりです。「物理」は「物理基礎」と「物理」を併せた範囲から出題します。「化学」は「化学基礎」と「化学」を併せた範囲から出題します。

(注3) 数学及び理科の2教科を受験した場合は, 高得点の教科を採用します。

(注4) 「物理」と「化学」はいずれか1科目を選択し, 受験することになります。

学部・学科等名	学力検査等の区分・日程	【平成27年度】(下線部が変更箇所)				
		大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	
理工学部	機械システム 工学科	前期	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世B, 日B, 地理B, } から1 倫・政経 数I・数A【必須】 数II・数B, 工, 簿・会, 情報から1 物理, 化学, 生物, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1	数 理	数I・数II・数III・数A・数B(注1) 物理(注2)
		後期	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世B, 日B, 地理B, } から1 倫・政経 数I・数A【必須】 数II・数B, 工, 簿・会, 情報から1 物理【必須】 化学, 生物, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1	数	数I・数II・数III・数A・数B(注1)
	電気電子工学科	前期	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世B, 日B, 地理B, } から1 倫・政経 数I・数A【必須】 数II・数B, 工, 簿・会, 情報から1 物理, 化学, 生物, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1	数 理	数I・数II・数III・数A・数B(注1) 物理, 化学から1(注2)(注4)
		後期	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世B, 日B, 地理B, } から1 倫・政経 数I・数A【必須】 数II・数B, 工, 簿・会, 情報から1 物理【必須】 化学, 生物, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1	数 理	数I・数II・数III・数A・数B(注1) } から1 物理, 化学から1(注2)(注4) } (注3)
	都市工学科	前期	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世B, 日B, 地理B, } から1 倫・政経 数I・数A【必須】 数II・数B, 工, 簿・会, 情報から1 物理, 化学, 生物, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1	数 理	数I・数II・数III・数A・数B(注1) 物理(注2)
		後期	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世B, 日B, 地理B, } から1 倫・政経 数I・数A【必須】 数II・数B, 工, 簿・会, 情報から1 物理【必須】 化学, 生物, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1	理	物理(注2)

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

「工業数理基礎」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を選択できる者は, 高等学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了(見込み)者に限ります。

外国語において英語を受験した者については, リスニングも含まれます。なお, リスニング未受験の者については, 失格とします。

(大学入試センターにおいて審査の上, リスニングの免除を許可された者を除きます。)

【個別学力検査等】欄

(注1) 数学は, 数学I, 数学II, 数学III, 数学Aは全範囲から出題します。数学Bは「数列」, 「ベクトル」を出題範囲とします。ただし, 旧課程の受験生に不利とならないよう配慮します。

(注2) 理科の出題範囲は次のとおりです。「物理」は「物理基礎」と「物理」を併せた範囲から出題します。「化学」は「化学基礎」と「化学」を併せた範囲から出題します。

(注3) 数学及び理科の2教科を受験した場合は, 高得点の教科を採用します。

(注4) 「物理」と「化学」はいずれか1科目を選択し, 受験することになります。

学部・学科等名		【平成27年度】（下線部が変更箇所）				
		大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	
農学部	応用生物科学科 生物環境科学科 生命機能科学科	前期	国 地歴・ 公民 数	国【必須】 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ・数A【必須】	数 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B(注3) 英Ⅰ・英Ⅱ・リーディング・ライティング
		後期	理 外	数Ⅱ・数B, 工, 簿・会, 情報から1 物理, 化学, 生物, 地学, } から2(注2) 基礎を付した科目(注1) 英, 独, 仏, 中, 韓から1		

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

「工業数理基礎」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を選択できる者は, 高等学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了(見込み)者に限ります。

外国語において英語を受験した者については, リスニングも含まれます。なお, リスニング未受験の者については, 失格とします。

(大学入試センターにおいて審査の上, リスニングの免除を許可された者を除きます。)

(注1)「基礎を付した科目」とは, 「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」及び「地学基礎」の4出題科目のうちから2出題科目を選択することを表します。

(注2)「物理」と「物理基礎」など, 同一名称を付した科目を選択することはできません。

【個別学力検査等】欄

(注3) 数学は, 数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Aは全範囲から出題します。数学Bは「数列」, 「ベクトル」を出題範囲とします。ただし, 旧課程の受験生に不利とならないよう配慮します。

# X 平成27年度以降の入学者選抜方法等の変更について〔予告〕

佐賀大学では、平成27年度以降の入学者選抜より、募集人員、選抜方法等を下記のとおり変更します。

## 1. 理工学部における推薦入試（推薦入試Ⅱ）の実施について

理工学部では、従来より実施している推薦入試（推薦入試Ⅰ）に加え、平成27年度入試から、以下のとおり大学入試センター試験を課す推薦入試（推薦入試Ⅱ）を新たに実施します。

学部・学科名	募集人員	大学入試センター試験 の利用教科・科目名		高校で履修することが必要な 教科・科目名			その他の 出願要件	
		教科	科目名等	教科	科目名等			
					平成27年 3月卒業 見込みの者	平成26年 3月に卒業 した者		
理 工 学 部	知能情報システム学科	3人程度	国 地歴・ 公民 数	国【必須】 世B, 日B, 地理B, } から1 倫・政経 数Ⅰ・数A【必須】	数	数Ⅲ	数Ⅲ, 数C	・高等学校を平成27年3月卒業見込みの者及び平成26年3月に卒業した者  ・学習成績、人物ともに優れ、科学技術に対する熱意と能力があると評価されて、高等学校長が責任をもって推薦できる者  ・合格した場合は確実に入学できる者
	機能物質化学科	10人程度	理 外	数Ⅱ・数B, 工, 簿・会, 情報から1 物理, 化学, 生物, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1	理 数	物理 数Ⅲ	物理Ⅱ 数Ⅲ, 数C	
	機械システム工学科	10人程度	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世B, 日B, 地理B, } から1 倫・政経 数Ⅰ・数A【必須】 数Ⅱ・数B, 工, 簿・会, 情報から1 物理【必須】 化学, 生物, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1	数	数Ⅲ	数Ⅲ, 数C	
	電気電子工学科	4人程度	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世B, 日B, 地理B, } から1 倫・政経 数Ⅰ・数A【必須】 数Ⅱ・数B, 工, 簿・会, 情報から1 物理, 化学, 生物, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1	数	数Ⅲ	数Ⅲ, 数C	

- ※ 推薦入試Ⅱの実施に伴う募集人員の変更は、確定次第佐賀大学ホームページで発表します。
- ※ 機能物質化学科については、従来の機能物質化学科において実施している推薦入試Ⅰの普通科、理数科及び総合学科推薦（10人）の募集を行いません。なお、工業系の科の推薦（2人）に関する変更の予定はありません。
- ※ その他の学科の推薦入試Ⅰについては変更の予定はありません。

## 2. 文化教育学部における一般入試（前期日程・後期日程）の募集人員の変更

文化教育学部では、平成27年度入学者選抜から、学校教育課程の音楽選修の募集人員を、以下のとおり変更します。

### 【平成26年度】

学部, 課程等	入学定員	募集人員		
		一般入試		特別入試
		前期日程	後期日程	AO入試
文化教育学部 学校教育課程 音楽選修	5	-	3	2

### 【平成27年度】

学部, 課程等	入学定員	募集人員		
		一般入試		特別入試
		前期日程	後期日程	AO入試
文化教育学部 学校教育課程 音楽選修	5	3	-	2

送信先 佐賀市本庄町1番地  
 佐賀大学学務部入試課 御中  
 Fax 0952-28-8944

### 佐賀大学「学生募集要項」申込書 (ファックス)

下記の要項を請求します。料金は受取りの際に支払います。

請求する要項 (○で囲む)	1. 一般入試 (11月上旬発表) 2. 推薦 (9月上旬発表) 3. 帰国子女 (9月上旬発表) 4. 社会人 (9月上旬発表) 5. 佐賀県推薦入学 (9月上旬発表) 6. A O (7月中旬発表) 7. 私費外国人留学生 (10月上旬発表)														
出願予定学部	<input type="checkbox"/> 文化教育学部 <input type="checkbox"/> 経済学部 <input type="checkbox"/> 医学部 <input type="checkbox"/> 理工学部 <input type="checkbox"/> 農学部 (□欄に✓を記入してください。)														
部数	部														
配達先	電話番号 市外局番 ( ) -														
	住所 〒														
	氏名														
配達時間の指定の有無 ※希望する時間帯に ○印を付してください。	有 <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td rowspan="2" style="font-size: 2em;">{</td> <td>午前</td> <td>12時</td> <td>14時</td> <td>16時</td> <td>18時</td> <td>20時</td> <td rowspan="2" style="font-size: 2em;">}</td> </tr> <tr> <td>中</td> <td>14時</td> <td>16時</td> <td>18時</td> <td>20時</td> <td>21時</td> </tr> </table> 無	{	午前	12時	14時	16時	18時	20時	}	中	14時	16時	18時	20時	21時
{	午前		12時	14時	16時	18時	20時	}							
	中	14時	16時	18時	20時	21時									

(注) FAX の送信は、学生募集要項発表後にお願いします。

本学の情報を携帯電話で見ることができます。簡単アクセスはQRコードをご利用ください。



携帯用 URL:<http://daigakujc.jp/saga-u/>